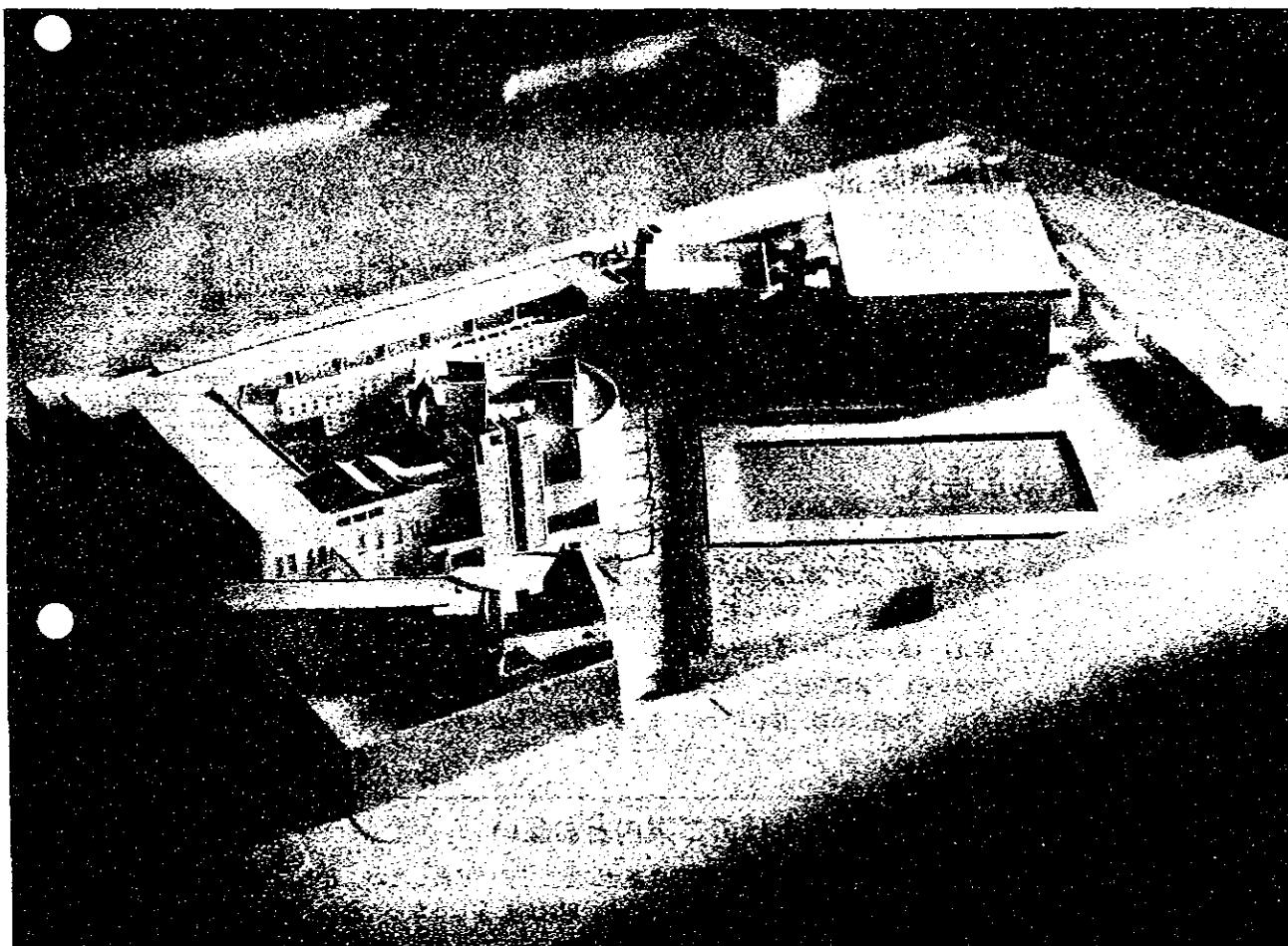


六稟倉報

NO. 29

1995・9・15

発行 平成 7年9月15日発行
大阪府立北野高等学校内
六稟倉窓会
〒532 大阪市北区新北野2-5-13
電話 06(306)0374 代表
FAX 06(306)1335
振替 00990-4-68025
六稟倉窓会名簿販売
振替 00910-7-309004
撮影 岸田知子・鷺田慶一・寺井あかね
印刷 フジエフオート印刷
電話 0729(87)8264
FAX 0729(86)1165



新校舎模型写真

122周年総会ご案内

特集1 これが新校舎だ

特集2 戦後50年記念「そのとき北野は・・」

六稜同窓会122周年総会 開催のご案内

総会は六稜同窓会会員全員に参加資格があり、同窓会の活動方針や予算がここで決められます。また、例年、各界で活躍しておられる会員による卓話があります。その後、懇親パーティーが開かれ、年齢を超えた交歓でにぎやかなひとときを過ごしていただきます。今年の総会は下記の要領で行ないますので、友人お誘いあわせてご参加ください。

なお、出席の方は同封のはがきにてご連絡の上、振替用紙にて参加費をお払込みください。

日時 10月29日（日） 1：30 PM 受付
2：00 PM 総会・卓話
4：00 PM 懇親パーティー

会場 大阪綿業倶楽部

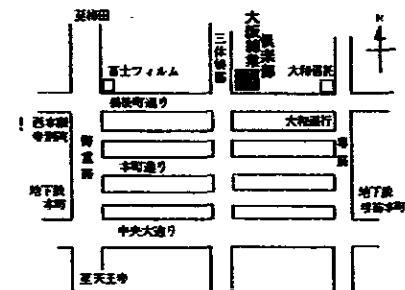
大阪市中央区備後町2丁目5番8号
TEL 06-231-4881

会費 5000円 ※但し卒業5年以内（H3以降卒）と
51期（S13卒）以前卒業の方は無料

卓話 「儒教と現代」

大阪大学教授 加地伸行（67期）

卓話者紹介 京都大学文学部卒業。高野山大学、名古屋大学を経て、現在大阪大学教授。
文学博士。専攻は中国哲学史。主な著書に「中国思想からみた日本思想史研究」（吉川弘文館）「中国論理学史研究」（研文出版）「儒教とは何か」（中公新書）「論語を読む」「史記一司馬遷の世界」（いずれも講談社現代新書）「沈黙の宗教—儒教」（ちくまライブラリー）などがある。



年会費値上げのご案内とお願い

六稜同窓会では昭和54年以来、年会費を2000円として同窓会運営に充ててまいりましたが、近年の諸経費の増大、金利の低下、またコンピュータ導入に伴う一時的な出費などにより、財政的に苦しくなってまいりましたので、6月10日の理事会にて年会費を3000円に値上げすることが決まりました。

つきましては、会員の皆様には趣旨をご理解いただき、年会費の納入にご協力くださいますようお願いいたします。また、会費納入率が増加していないというのも事実です。事務局としましても納入者が増加するよう一層の努力をいたしますが、皆様におかれましても、その点ご協力くださいますようお願いいたします。

年会費納入には同封の振替用紙をご利用ください。

特集 これが新校舎だ

KITANO NEXT CENTURY PROJECT (1994年総会卓話抄録)

京都大学工学部建築学科助教授 竹山 聖 (85期)

私は昭和45年に入学しました。入学式の半月程前に大阪万博が開幕しまして、高度成長の最後のはなやかな時代を高校で送り、調子に乗って建築学科を選び、京都大学の1回生の秋にオイルショックに見舞われ、卒業の時は理科系の学生はまったく就職がないという状態でした。今、教える学生は大体70年代生まれで、そういう話がすでにわからなくなっています。歴史とか記憶とか、そういうものの継承はどういうふうに行なわれていくのだろう。そんなことを考えながら、今回の校舎の計画に当たっています。

現在の校舎は、1930年に着工して31年に完成しました。建築は伸び方方が非常にゆっくりなので、それと気がつきません。ここ3年ほど、校舎の耐震診断が行なわれ、その結果、構造的に危ないという結果が出たようです。それに、大阪府のプログラムで、古いナンバースクールは建て替えの時期だということで、他の伝統校はほとんど改築を終えています。北野も、そういうことで改築をすることになったわけです(プール・体育館・第2新館は残しますから改築といいます)。

府立高校ですから、大阪府がオーナー、府の教育委員会がクライアント、府の營繕部が設計者、北野の教職員・生徒は単なるテナントである、という位置付けになるのです。ここに問題となってくるのは、平等化、画一化ということです。現在の府立高校の基準通りに、ごく一般的な、豆腐を切って並べたような高校の設計で建てて、はたして北野高校はそれでいいのか。120年の伝統のある北野高校で、単なるテナント扱いもないやう。そう感じまして、營繕部から発注を受けて仕事を進めていた高橋上田設計事務所の高橋さん、大谷さん(どちらも北野の先輩)、前校長の足立先生、肥塚教頭とお話をし、新しい案を提示させてもらいました。幸い、双方にいい感触をもっていただいたというわけです。

では、何が記憶の継承であり、北野の伝統であると考えられるのか。北野では、僕も入学してすぐに思ったわけですけれども、画一的あるいは平均的な教育とは全く逆の教育がなされてきたのではないかと思います。先生方が個性豊かで、それぞれの先生の関心のあるフィールドを自由にお話されていたようですし、生徒の方も、聞くも自由聞かぬも自由といった雰囲気があった。自由は責任を伴いますが、主体的に学ぶなら学ぶ、運動するなら運動する、遊ぶなら遊ぶということが行なわれていたと思います。そのような精神をうまく学校の建築に反映できなかつと、まず考えました。

今回、三つの柱を掲げました。まず一つ目は自由と主体性、二つ目は古いものと新しいものの共存、三つ目は余白の形成です。今回の設計案では、この北野高校に来

た人が各々の目的に応じて自由にアプローチできるようになっています。先生方、生徒、来客それぞれが、さまざまな道筋を通ってさまざまな場所にアプローチできる、どこも皆違うというような空間を作っております。これはある意味では現在の校舎の特徴でもあります。全体としてのアイデンティティーがありながら、それぞれ光や空気の異なる空間を生徒や先生が自由に使いこなしています。それを発展させて、この精神面での歴史・伝統を継承できるのではないかと考えました。

次に、現在の校舎の記憶をうまく受け継ぎたいと思いました。今の校舎の味わいは、長い空間なのではないでしょうか。長い廊下の空間と、中庭を持つ空間が一体化された校舎、このPの字型というのが異なった場所を生み出すのに非常にいい形態なのですね。設計案では、現在のPの字を反転して置いたような形で全体の計画が作られています。現在のテニスコート辺りに新校舎の基本的な部分が来ます。こうしますと長い空間が南向きになりますし、校舎の南側にグラウンドが来るという理想的な形になります。それに、現在の校舎を残したまま、建設がすすめられ、引越しがすんでから古い校舎を壊していくことができます。

バックネット裏に大きな楠がありますが、これを残して、「楠の広場」とします。ここが、生徒の入口、多目的ホールへの入口になり、楠が新しい校舎になんでも生徒たちを見守っていく。こうして、一つの記憶の継承が図られ、機能を超えた象徴的なレベルでの伝統の継承が行なわれるのではないかと考えました。

「楠の広場」は体育館やプールと同じ向きを持ちます。メインアプローチもその軸を踏襲します。講堂に代わる多目的ホールもプール中央の軸線上にあります。古い秩序を継承して新しい秩序に移していくというわけです。

また、現在の校舎に残る弾痕の跡を保存して、メモリアルウォールとします。

北野には教育史上貴重な資料が多く所蔵されていると聞きます。これを守り展示するためには、府の基準を超えた大きな図書館、あるいは併設した資料館、同窓会館というものが必要でしょう。

伝統あるいは記憶をしっかりと継承するという精神を持って、新しいものを育てるということが本当の意味で伝統を守ることになるのではないでしょうか。

ネクストセンチュリーと言いましたのは、百年もつ建築を考えるという意気込みを表わしています。現在の校舎が昭和の名学校建築であるならば、平成の名学校建築を目指すという意気込みも表わしています。そうした校舎に向けて、同窓会の皆さんとの全面的なバックアップをお願いしたいと思います。

特集 これが新校舎だ

校舎改築基本設計決まる

平成9年着工、完成は 2000年

前号でお知らせしたように現校舎の老朽化に伴う改築工事がいよいよ行なわれることになった。体育馆・ブル・第二新館はそのまま残されるので、新築ではなく改築というのであるが、60余年にわたり多くの六後生を育んできた現校舎と講堂は取壊され、全く新しいものに生まれ変わるのである。

このたび、基本設計報告書が大阪府営繕部ならびに高橋上田設計事務所から公表され、建築計画が明らかになった。この設計案成立には建築家竹山聖さん(85期)と高橋上田事務所の高橋清文さん(72期)大谷明徳さん(78期)の多大なご尽力を得た。また、あくまで基準通りの建築を行なおうとする府に対して、北野らしい斬新な設計案を主張し実現にこぎつけたのには、足立前校長と現在の山崎校長を始めとする北野高校全日制・定時制の教職員の团结、府に陳情を行なった福畑会長以下の同窓会諸氏の熱意が功を奏したにほかならない。

昨年の総会卓話で竹山氏が述べたように、「平成の名学校建築」として、また21世紀にふさわしい学校建築として、全国に誇り得るものになるであろう新校舎を紹介しよう。

なお、大阪府の財政上の都合により、平成8年度に実施設計が決定され、着工は平成9年となる。おおよその

工事工程は次の通り。

平成9年度 テニスコート。旧図書館撤去
(同窓会事務局は第二新館に移転)
新校舎(東部分) 建築

平成10年度 "

平成11年度 旧校舎西半分撤去
新校舎(西部分) 建築

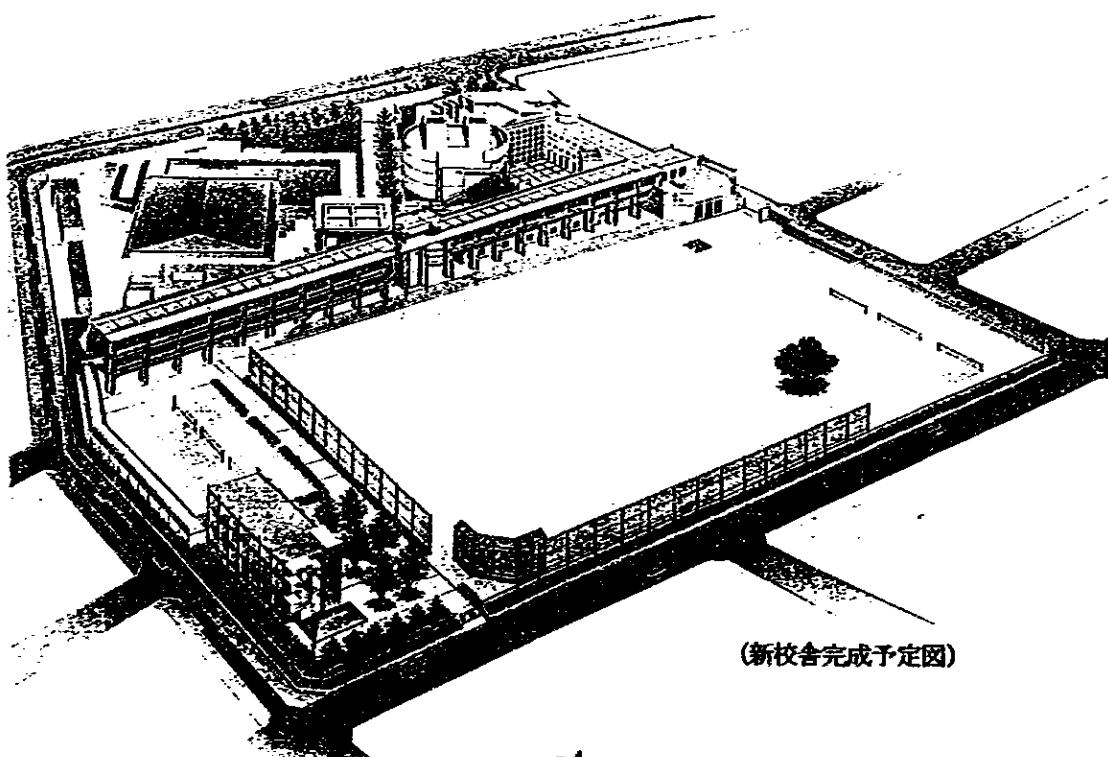
平成12年度 "

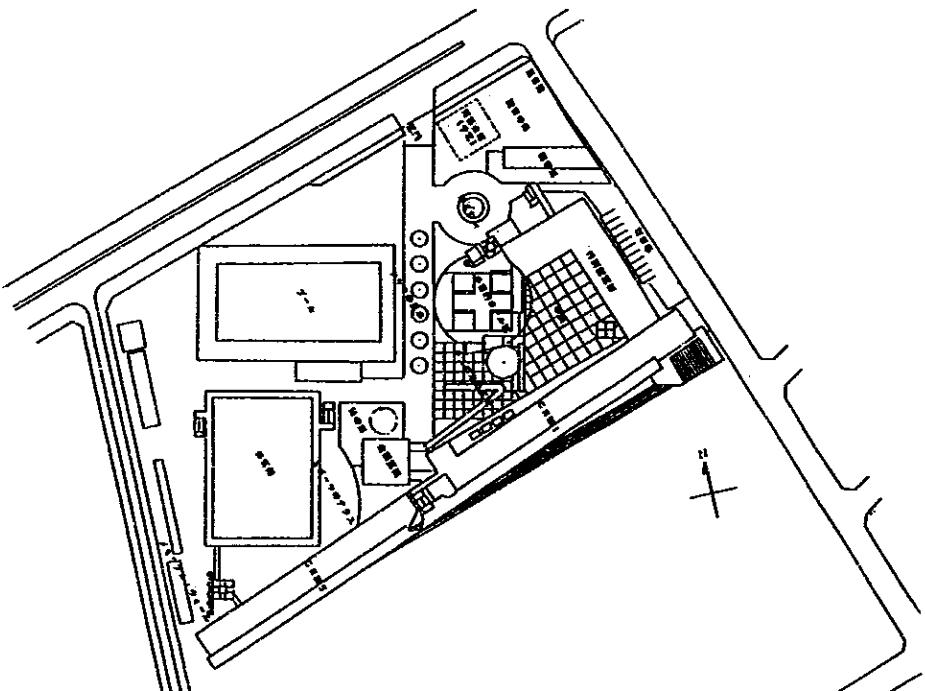
旧校舍新館等撤去

平成13年度 校庭、周辺整備

同窓会館(資料館)建設に同窓会の総力を

完成模型にはあるが、設計図にはないもの、それは同窓会館(兼資料館)である。新しい同窓会館建設は六稜同窓会の長年の願いであった。また、北野の歴史は大阪の教育の歴史でもあるので、われわれは北野が所蔵する多くの資料を保存していくなければならない。これを実現するには、同窓会全員の総力あげての取組みが必要である。具体的な方針は今後の問題ではあるが、その際にはご協力をよろしくお願いする。





2001年校内ツアー

今は西暦2001年。北野高校の校舎が新しくなったといふので、さっそく見学。以下はその見学記（のつもり。新世紀先取りの気分でお楽しみあれ）。

駅前再開発工事中の十三駅前を通り過ぎて北野高校校門に。かつては通用門ないしは裏門と呼ばれ、「君等はみな裏口入学だ」とからかいのタネになった市道淀川北岸線に面したこの門が「正門」に昇格。入るとすぐ左手に資料館兼同窓会館。その先の車まわしに面して図書館と玄関がある。図書館・同窓会館と校壁の間にある「読書の森」が緑陰を作っていて、壁一つ向こうの騒音がウソのよう。

昔ながらのケヤキ並木のアプローチを進むと、右にはプール、左には曲面の壁のモダンな建物。これが多目的ホールというもの。このホールの入口はと検索すると、なんと懐かしいあの楠の大木。ここは「くすのきの広場」というのだそうで、教室二階に通じるスロープもここから昇る。くすのきの奥に中庭があって職員室や特別教室はこの周囲に配置されている。

ケヤキ並木を通っていると、つきあたりの東西に長く伸びた校舎の一階ピロティ（ふきさらしの柱だけの空間）の向こうにグラウンドでボールを追う生徒の姿が見える。

このピロティが、夏の日には格好の休憩場所となり、雨の日にはちょっとしたトレーニングの場所にもなり、試合の時には応援席になるだろう。グラウンドからピロティを通って体育館に通じるあたり、「スポーツのテラス」というのだそうだ。ユニフォーム姿が大勢行き来する。スポーツがますます盛んになりそうだ。

東から西まで180メートルもの長い校舎の2階には西半分に9クラス、3階にはズラッと18クラスの教室が並んでいる。この数年1学年は9クラスで、将来的にもそれが続くらしい。長い廊下を歩いていると、昔の校舎の廊下を歩いているような錯覚に陥る。教室にはグラウンドに面してテラスがあって、テラスにでると淀川の向こうにスカイビルが見える。グラウンドにいる生徒に思わず声をかけたくなる。旧校舎のグラウンドを見降ろす廊下側の窓が、高くて見えにくかったのとは大違いだ。

校舎の西の端から体育館に行く階段がある。この階段の側壁こそ、旧校舎の西端をそのまま残したもので、そこには第二次大戦時の爆撃の弾痕があるため、メモリアル・ウォールとして後世に残すことになったのである。タイルの色、肌触り、ここに60年以上も建っていたあの威風堂々たる校舎を知る手がかりがこうして残っていることはうれしいことだ。

まだまだ見残したところは多い。それだけ見どころの多い建物なのだ。



(新校舎南面図)

特集 戦後50年記念「そのとき北野は・・・」

私の中の六棲の星



北村 涌
(59期)

＜略歴＞東大卒業、米留学。1953年外務省入省。北米局長、外務審議官を経て1988年駐カナダ大使、1991年駐英国大使。1994年6月退官。現在は三菱商事(株)顧問。

B29爆撃機の低くて重い爆音が続くなか、私たちは勤労動員中の粗末な工場内の防空壕で、鉄兜をかぶり、両手で目と耳を押えながら、次から次へと落ちてくる爆弾や焼夷弾の落下音を聞き分けようとしていた。

「ああ、これは大丈夫だ。それでいいだ」

「いや、こいつは近くに落ちるかもしれない」

昭和二十年三月の大坂大空襲以後何度も繰り返されたアメリカ空軍機の来襲に、私たちの耳は、爆弾の風をきる音からその落下地点の遠近を聞き分けられるまでに慣れてしまっていたのである。

突然、ガツ、ガツ、という大地をえぐるような音がして、焼夷弾の鉄筒が防空壕の天井に接触しているコンクリートの道路に当たるのがわかった。

「こりや近いどころか、頭の上だ」

誰かが叫んで、防空壕の入り口に走った。

「もう暫くここにいろ。今外に出では危険だ」

空襲の波が一段落したところで、わたしたちは外に出た。相当数の焼夷弾が工場内に落ちたようで、あちこちに赤黒い炎が燃え上がっていた。昼というのに黒煙が舞い上がり、それが雲を呼んで空は不気味な暗黒さを帯びていた。

以上は、終戦の年の前半、私を含む北野中学四年生の一部が、動員先の工場で経験した空襲の一場面である。

私たちが北野中学に入学したのは昭和十六年、以前から続いていた中国との戦争に加えて、十二月にはアメリカ、イギリス、オランダ等を相手とする大東亜戦争に突入していった。それでも、二年生の終わりぐらいまでは、北野の学校当局はできる限りの努力をはらって授業のた

めの時間を確保していた。ほかの中学校が、軍事教練や食料増産のための農地開拓などに多くの時間を取り入れていたなかで、北野は伝統的な授業を続けていたのである。恐らく当時の北野の先生方が、戦時中の特殊訓練を押しつけようとする当局や当時の時流に勇敢に抵抗された結果であったろう。しかし、その努力も長く時代の流れに逆ることはできなかった。

加えてその頃、「葉隠れ精神」を鼓吹する新校長が佐賀から赴任ってきて、従来の北野のやり方は「日本帝国の危機存亡の時」にふさわしくないとして、北野の「葉隠れ化」を図ったことも一因であったろう。とにかく、三年生になると、軍事教練に加え防空壕掘りや防火用水造りに連日動員されて、学校の授業は長期間中止になることが多かった。そして四年生になると、大阪近辺の軍需工場に動員されて、ついに授業は完全になくなってしまった。

昭和二十年の三月以降は大阪周辺への空襲が頻繁に行われ、同期生のなかにも空襲で若い命を失ったものや、家を焼かれて大阪を去っていくものも出てきた。騒然とした祭囃氣の中で、ただ毎日が過ぎていたのである。

私たちは、「四年で卒業」という当時の文部省が取った異例の措置によって三月末に北野を卒業したのであるが、勤労動員の方は、六月末まで中学時代のまま続行すべしということで同じ工場に通っていた。

卒業式もなかった。第一、北野自体が空襲を受けて校舎の一部を焼かれていたのである。私には卒業証書をもらった記憶がなく、また、通常ならば三年以上にわたって組長を務めたものに与えられる表彰状をいただいた記憶もない。ただ、そういうことに対する執着心がどこかへ飛んでしまった、というのが当時の正直な感覚であった。

今考えると残念でならない。大阪名門の北野中学に入学し、とにかく卒業したのである。然るにその最後が、何かうやむやのうちに過ぎてしまったというのはいかにも残念である。しかし、そういう時代であった。それが、日本という国の姿でもあった。

今回私に与えられた「昭和二十年—その時北野は…」という題を、多少ひねくって考えてみると、当時一緒に卒業した私たち四年生や五年生にとって、北野は確かに物理的には存在していたものの、修学の場としての北野は存在していなかったも同然であった。

しかしながら、「伝統」というものは、こういうときにこそ威力を發揮するものである。それは、北野の先生や生徒のそれぞれの心の中にあって、いろいろな形を取

りながら、ある場合には、当時の集団主義的軍国主義的雰囲気に対して有形無形の「抵抗」となって表われたり、或る場合には、与えられた仕事を常識的には不可能な日程で完成させるというような「頑張り」の形で表われたりした。

私自身もいろいろと抵抗を試みたようである。夏休み中の軍事教練に出席せず、数人の友人たちと旅行に出かけたのが後でわかつて、教練担当の元軍人教師から大玉を食つたこともある。

海兵や陸士をはじめ軍関係の学校への進学を必要以上に強要する雰囲気が、先輩や学校当局の一部に出てきたときにもやたら反抗して、「私はどうしても高等学校に進みます」と嘯いたことも度々あった。

しかしながら、それは決して反戦思想ではなかった。当時の中学生として筋の通る立派な反戦理論を持つことなどありえず、第一そんな大それたことは考えもしなかった。ただ、時流に乗って内容の無い軍国主義的教育を押しつけようとした当時の学校当局の一部に対し、「果たしてこれでいいのだろうか」とか、「どうしてこうならなければならないのか」というような疑問を、「体」で投げかけようとしていたように思えてならない。いわば、時代の不合理や無慈悲さに対する言いようの無い不満と憤りを何とか表現したかったのであろう。

このような「反抗」的姿勢は、当然のことながら、当時の先生方のなかにもあった。

私たち四年一組が、中津のスレート工場で勤労動員していたときのことである。チャカというあだ名の北野生え抜きの漢文の先生が、私たちの監督教師であった。午前中の仕事を終えると昼食となるが、麦と大豆かすが九割を占めるどんぶり飯に、「実のひとつだに無きぞ悲しき」と歌った太田道灌の名を借りて「道灌汁」と名付けていた味噌汁と野菜のごった煮が毎日のメニューであった。それでも、この一時間は私たちにとって唯一の楽しい休息時間であった。

チャカ先生は、私たちと向き合って食事を終えると、黙って英字新聞をカバンの中から取り出して読まれるのが日課であった。戦争末期の「銃後」の軍需工場において、「ストライキ」「ボール」「セーフ」「アウト」という野球用語すら敵性語として廃止されていたその英語で書かれた新聞（現在のジャパン・タイムズの戦中版であったと思われる）を生徒の前で堂々と読むことは、勤労動員の監督教師としては相当勇氣のいることであったに違いない。或る日、その先生と通勤の電車で乗り合わせた私は、どうして英字新聞を読んでおられるのか尋ね

てみた。

「君達はこの時局をどう考えているか知らんが、英語を勉強しておくことは大事だよ。必ず必要なときがくるから」

先生はこう答えて、暫くじっと遠くを見るような目をされた。その時は、日本が「鬼畜米英」に負けて、彼らの言葉である英語が押しつけられて必要になるというふうには受け取らなかった。しかし、「この先生、普通の価値観とはちょっと違った、何か大きな将来を考えている人だな」という感じを受けたことだけは今でもよく覚えている。小林二郎先生の御健勝を祈る。

あれから五十年、この日本にも、またこの私にも、いろいろ変化があり進展があった。

私は北野を出たあと、旧制の第三高等学校、東京大学を経て直ぐアメリカに留学した。チャカ先生に英語の重要性を教えられてから六年しかたっていないかった。帰国して外務省に入り、四十一年の外交官生活を送った。昨年、駐英大使を最後に退官して、現在日英協会の理事長や三菱商事の顧問などをしているが、自分自身の戦後50年を思うとき、やはり大東亜戦争の丸4年を過ごした北野中学時代の体験が、私の心の中で一つの心棒を造っていたことに思い当たる。それは、個人の自由が最も制限されていた時代に、そのちょっとした可能性を求めていろいろとはかない反抗をしたことであり、時流に流されないように自己主張をするための努力をしたことでもあった。顧みてありがたかったことは、私のような一生徒の我儘を或る程度許してくれた北野の伝統であり、その懐の深さであった。

今まで時流は、行き過ぎの方向に動いている。「節度なき自由」と「平和ぼけ」、さらに「この日本の国が平和であればいい。よその国の問題にはできるだけ関わりたくない」という「一国平和主義」がはびこりつつある。それらが如何に日本人を国際性の乏しい国民に仕上げることとなり、かつ、日本を国際社会の覇児に陥れる危険性を持っているかを憂慮する気持ちに欠けている。

現在もっともしっかりとしてもらわなければならぬ政治は、糸の切れた風のように党利党略に右往左往している。そのような政治が日本の経済を駄目にする、というシナリオがすでに動き始めているにもかかわらずである。

このような日本の現状を見る時、私は、この50年の間に北野に学んだ多くの人達が、その良き伝統たる「自由」と「節度」をそれぞれの人生航路に実現されていくことを期待してやまない。

特集 戦後60年記念「そのとき北野は……」

座談会 昭和20年 そのとき北野は・・・

出席者 水島喜平先生（昭和元年～24年在職）
西村一男（60期） 坂本彬（61期）
内藤壽一（61期） 山本次郎（62期）
脇田修（62期） 徳永行平（63期）

巻ゲートル

水島 敬礼をやりだしたのは18年からですから、学校で非常時体制になつたのは大体18年だと思いますね。

坂本 校長で区別すると非常によくその特徴を捉えられるんですよ。というのは、昭和18年4月末で、ずっと病欠されていた長坂校長が正式に辞められたでしょう。その後にあの有名な田村校長、ギヨロが来たでしょう。そういう点で18年が北野の大きな転機になつたと思います。

山本 今、18年ということをおっしゃったけれども、連合艦隊司令官山本五十六が戦死したのが18年4月なんですね。だから、これは日本の歴史の上でも一つの転機で、あのときから負け戦さに変わったんですね。

水島 太平洋戦争が始まったのが16年ですけど、その前から勤労動員が多くなっています。私の親父が死んだのが14年ですが、そのときに淀川の堤へ勤労動員で行く計画を私がしておったものですから、親父が死にかけていると言われても、よう行けなかつたですからね。ですから、勤労動員は昭和も13年くらいからぼつぼつ始まつてはおりましたね。それで、長柄橋のところへ勤労動員で行ったのが割合に多かったです。それから、池掘りというやつですね。



脇田 貯水池ですね。

水島 そう、貯水池掘りも大分前から行っていました。

西村 120周年をやつたときに言ったことだけど、ちょうど僕ら60期というと昭和4年、5年生まれなんですね。その世代というのは、生まれたときに満州事変があり、小学校に入ったときに支那事変が始まると、中学校へ入る直前に大東亜戦争が始まり、終わって大学へ行ったという、何か戦争とともに歩んだ生活のようなところがありましたね。それと、61期から後とは画期的に違って、名前が北野高校というのに変わる、しかも女性が入ってくるというようなことは想像もできない、60期、いま65.6になっている男連中の北野中学というのがあってね。18年頃というのは、ともかく北野へ入って、何か勤労奉仕で木綿を持って学校に通わされていました。その中で、よく逸話として言われるけれども、北野は軍人を作る学校とは違う、ジェントルマン

をつくる学校だと、先輩からも先生からも常に言われていたような思い出がありますね。だから、田村校長が来られて、確かに急に軍事色みたいになって、被っている帽子でも僕らの年代から確か国防色の戦闘帽になりましたね。

内藤 それは田村校長の前から。

西村 前からです。だから、その辺から時代が変わったなと言う感じがしますね。

山本 僕らが北野に憧れたのは、あの白線帽と海軍式白ゲートルだったんですね。それに憧れて行ったんだけれども、確かに西村さんの60期、僕の2年先輩の方々は菜つ葉服に巻脚絆、戦闘帽というので大分むさ苦しいイメージに変わっておりました。我々ももちろんそうでした。

西村 だから、62期の連中は、戦後、思春期になってから、白線を付けた黒い帽子を被つてた時代があるけれども、僕らそれがないのですよ。

脇田 敗戦後に、巻脚絆、巻ゲートルを我々はやめたんですね。今後はいいだろうと言って、あの白のゲートルに戻したんです。そのあと四ッ橋の電気科学館に行きましたら、MPが血相を変えてやって来て、水島先生が出て行かれてMPとやりとりをされたんです。そして、その次の日ぐらいにやめろということになったんです。どうもね、こちらにしてみたら元へ戻ったつもりだったのが、アメリカ軍から見たらマリンじゃないかということですね。



水島 ゲートルの話が出たから一つ言わせてください。北野の学生の特徴は、海軍の白いやつでした。陸戦隊のね。それでやっていたのですが、巻ゲートルに皆さん変えました。あれは結局、配属特校その他の方からきつく言うて来て、それで変えたんですが、それは割合に簡単に決まりました。ところが、今度、ついでに先生も巻ゲートルをせよと言う。しかし、大部分の先生はやらない。それは19年だと思います。それで私が校長室に呼ばれました。校長が「水島さん」、校長はいつも私を水島さんと言っていました。「あんたな、巻ゲートルにしてくれんか」と言う。僕はゲートルが本当に嫌いなんです。「いやあ、どうもあんまり好みませんな」と言つたんです。そしたら「あんたが巻ゲートルにしたら、先生たちもみんなしてくれる。だから、あんた、してくれ。これは校長が頼むんだ」と言つたのです。僕は仕方ないから、職員室に帰りました。「いま校長からゲートルを巻けと頼まれたから、頼まれば仕方がない。明日からおれはゲートルするぞ」とみんなに言うて、それで翌日から先生たちも皆巻ゲートルをしたのです。それをして、ずっとそのまま授業をしておりました。戦争が終わってもまだゲートルをしておりました。校長も浜田校長に替わりました。ですけど、まだ世間全体はゲートルを巻いてました。

そこへ、クリスティンセンという教育課長が学校視察に来ました。僕は、そのときクリスティンセンに質問したのです。北野は白いゲートルをやっておった。その白いゲートルをやったのはなぜかというと、日露戦争の頃、生徒が軍事教練をやっておった。先生が足りないから5年生が助手になってやっておった。ところが、ズボンが破れてきたから、それを隠すためにハンカチだったか、手拭いだったかで縛った。それがスマートに見えた(笑)。みんなでそれのまねをやったが、そんなのをずっとやるのだったら、陸機隊のあれをやろうじゃないかということになって決まったんだと、僕は聞いているのです。体操の先生で音楽の先生でもあつた森田という人が日露戦争の頃からおりましたので、その先生から話を聞いたのです。それで、僕は戦争が終わったんだから、もう一回、北野の昔からの象徴であるところの白いゲートルにしたいと思うけれども、どうかと僕は言ったのです。そしたらクリスティンセンが「伝統は大事にすべきであるが、その時世に余り合わないこともあるんだ。だから私はアドバイスとして言うが、ゲートルのような軍事色のものはやめた方がいいと思う」と言ったんです。彼が帰った後、会議室で校長が、先生たちにそのことを言って、校長の意見としてはゲートルはやめたいと言ったのです。それで他の先生も賛成して、すぐにやめるということになったのです。それで、私がそれに次いで「もうじき制服が夏服に変わる。いっそのこと半袖のシャツにしたらいいじゃないか」と言ったら、校長が「それがいい」と言うたんです。それで半袖のシャツが決まったんです。その時、平石さんが「わしが一つ作ってくる」と言つて、奥さんに見本を作らせて持つて来ました。シャツに変えて1週間ばかり経つたら、大阪中の学校がほとんどシャツになりましたね。

勤労奉仕

西村 18年か19年頃から勤労奉仕がどんどん増えてきました、1年、2年はまだ授業を受けて、3年になつたら勤労奉仕に行かされたような記憶がありますが。

水島 始まりはそうだったんです。あの頃、私が動員主任だったので、なんで私を主任にしたかしらんですよ。

西村 その指示は大阪府か教育委員会みたいなところから来るわけですか。

水島 そうなんです。主任は各学校で決めたらいいのですが、私は正直なところ、まだ偉くなかったのです。だけど私が動員主任と企画係りかね。

西村 僕らの記憶では、今日は中崎町、今日は何々町いうて疎開の家を漬しに行って、貯水池を掘らされて…。

坂本 あれは19年か。

西村 19年です。桜島の何やら倉庫へカンパンを干しにいかされたり。その日、学校に行つたら「おまえ、どこへ行け」というような企画というか計画がありましたね。あれは先生がお決めになつたんですか。

水島 そうです。府から「動員主任、ちょっと来い」、それで私が行くと、府の方はちゃんと何月何日はどこに何名位という大きな表を作つて持つてゐるのです。それで、北野はどこ行け、どこ行けと向こうが言うのです。ところがね、こんなことは今だから言つてもかまわないと思うのだけれども、その時の数学課留學長は浜田先生(後の浜田校長)だった。私はそこで浜田先生と初めて会つたんだけれども、こう言つたんです。この戦争が終わつたときに、こんど必要なのは何かというたら頭の問題です。だから北野などはやっぱりできるだけ勉強をさせなければいけんと思うんですけど、と。それに対して浜田先生は返事をしなかつた。返事したら後で問題になる。その下の人にも僕は「いやあ、北野の生徒を勉強させておかなかつたら、いよいよ戦争が済んでからあきませんがな」と言うたら、「そうやな、そうやな」と言つてくれたんです。だから正直なところ、ある程度は減らしてもらつておりますよ。よその学校よりは動員が少なかつたはずです。

内藤 そういうことは我々の記念誌(61期記念誌『十三堤』)にも誰かが、水島先生のおかげで動員が減つてどうとか書いていました。

水島 私にね、「先生、ここは格好いいけど、ここは事故が多いところだ」というようなことを内緒で教えてくれたです。それやつたら、なるべくこっちの方へ行かしてくださいと言うて…とにかく北野の生徒はもっと勉強させた方が得だということは向こうも知つていたからできたことで。

内藤 学生は勉強するもんや、そのために学校へ入つたんだ、だけどその頃、学生は戦争に勝つための戦力というか、勤労の労働力として位置付けられていて、国全体がそういうふうにずっと流れているから、勝手なことは言えないような状況だったと思うんです。私は長男で兄貴が北野にいるのではないかから、昔と比べてどうかというような比較はわかりませんけれども、2年の途中までは普通の授業だったですね。

坂本 そうです。北野はよう授業してましたよ。

内藤 教練とか入つたり、運動会なんか違うなという気はしましたけれども、本当に授業が他のものに食い込まれて行つたのは…。例えば服部緑地の開墾だとかね。

坂本 それは1年からありましたね。

内藤 初めの内は、生物の延長みたいな形ですね。

坂本 そう、農業実習のね。

西村 学校の道挟んで向こう側に農園があつて、そこでウマさんが親玉になって農業実習したんです。

内藤 19年の中頃から、教室の中でやる授業では戦争に勝てないというような感じで、学問を強化しなくなつたんじゃないかなと思います。

坂本 それとね、戦争が済んで50年経つてしまうと、初めから負けるに決まつて戦争に突入したように思



うでしょう。そうではないんです。初めから負けるに決まっていたら誰もやらへんと思う。事実、初めの半年ぐらい、どんだけ華々しかったか。昭和17年18年頃までの戦争に対する考え方と、それ以後では全然違うんですよ。17年にミッドウェーで一応負けたでしょう。負けたけど、そのあと部分的には勝っておったのです。本当に負け出したのは昭和18年2月のガナルカナルの撤退、それ以後はどんどん下り坂で…。アツ島の玉碎が18年5月29日かな。「海行かば」が流れて、暗い気持ちになったのを憶えています。1年生に入ったばかりやけど。

水鳥 生徒が私に「勤労動員に行かせてくれ、勉強しておれない」ということをよく言つてきました。授業をもっとやらしてくれと言うてきたのは一人もありません。それから、先生の方も18年以後は工場に出ました。あのときに「学校ではなく工場に行かせてくれ」と言うて来た先生が3、4人あります。

西村 現実には、学校に来るのに弁当を持ってこれない、勤労奉仕に出ますと食事が出来ますから、そういうわけもあるでしょうね。

水鳥 それは確かにあります、配属特校などに焚き付けられたと僕は思つんですけどね。仕事をさせてくれと、生徒が相当言うて来ました。私は「まあ、まあ、うん、うん、だけどな、勉強しておけよ、今でないとできんぞ」ぐらいしか言ひませんでした。

西村 配属特校とプロバーの先生との間は、ぎくしゃくするものがあったんですか。

水鳥 ありますけどね、出さんようにしておりました。先生たちは、学校に来たら朝遅刻してもいいんでしょ。工場に行っておったらごまかせます。それで、私は大体この先生はごまかしているとわかりますよね。校長が視察に行くとき、僕は何とかして知らさんにやいかんのです、先生にね。あの頃、電話がうまく通じない。大分骨折りました。自転車で走つてみたりね。だから大分私は他の先生を助けてやっていますよ。

ギヨロさん

西村 大槻先生という音楽の先生がいてはったでしょう。陸軍幼年学校かどこかの兼任みたいな形で。あの先生に講堂のピアノのところで、「ティンクル・ティンクル・リトルスター」を中学入つて最初に歌わされて、幼年学校の先生がなんで英語で歌うのかと思ひながらね。戦争中にあって、まだ自由主義的な…、長坂校長の時代やね。

山本 長坂校長がリベラルな人で、そういう人を北野の校長に置いておくのはまずいというふうな、いろいろな思想があちこち上部の方であったんじゃないかというふうな話が、前回の座談会（本誌19号「北野の教育—戦中戦後編」）でも出たのですが、そのときに長坂



校長が教育勅語か何か読み間違えたのを誰かが指摘して摘發したというか、そんな噂を聞いているのですが。水鳥 それは事実です。「宣戦の大詔」の最後が「昭和16年12月8日」でしょう。それを「明治」と読んだのです。教育勅語が明治23年10月30日、あればかり頭に入つておるものだから、ついああいうことになつたと思うんです。2回それがある。

坂本 戦後の方にはわからないでしょうけど、昔は勅語を読み間違えたら、それだけで退職はおろか、自殺までした人がおるのです。

山本 ギヨロさん（田村校長）が壇上で何かの詔勅を読み間違えたんだが、ギヨロは「もとい」と言ってね、それで切り抜けて、別に免職話は出なかつたから、だから裏に政治色はあるでしょうね。僕らは昭和19年4月に北野に入ったときに、ギヨロさんがヒットラーのような獅子吼を壇上からやって、我々はヒットラーゲントのごとき訓練を受けましてね。朝礼なんていふのも3時間続く。「今回は卒倒者が前回よりも少ない」とか言ってギヨロが喜ぶ。我々、駒田や僕なんかの北野中学はギヨロの時代から始まりました。

駒田 僕らは入つた時からギヨロでしょう。きつい人やと思ったけれども、それほど思わなかつた。むしろ、しんどうなってきたのは、2年生になったころ。

内藤 やはり自由主義的な考え方のぬけない北野には少し骨のあるやつをやろうということで「おれが行って」という使命感で来はつたと思うんです。

坂本 大分前に水鳥先生が「私は田村校長を軍国主義者とは思ひません。あの人は官僚がたまたま誤って教育壇に入つてこられた人だと思う」と書きはつたけど、本当にそう思ひますね。



駒田 朝礼で、立つたままでそのまま真っ直ぐ倒れたのがいた。ギヨロはそのとき「えらい」と言つて褒めました。それで、日陰へぞろぞろと逃げて行くやつはけしからんと言うて怒つたね。

山本 僕はね、あの人は非常に単純な人と言う印象なんですよ。

水鳥 あんた方、多分お気付きにならんと思うが、あのギヨロさんが坊主頭でなかつた。戦争中も。他の校長は大抵坊主でしょう。

山本 髪を分けてボマードをつけていた。

坂本 よう憶えているな。ところで、ギヨロはアルコールを飲むと人格がちょっと変わるところがあつたでしょう。

水鳥 そいつはわかりませんね。だけど、あの頃、月に2本ずつビールの配給があつた。私は飲みません。ただのやつは飲みますよ（笑）。いつもビールを置いておいて、私、企画係だから計画みなやつていたから、こいつは校長が反対するに決まつるぞと思った時に、ビール1本持つて行ってね、学校へ来る前に首舍

に置いておきます。朝礼を済まして、校長が官舎に帰ります。官舎でちょっと休んで、校長室へやってきます。だから、第1限がすんだときに私は校長室に行って、この問題はこういうふうにしたいと思いますと言ふとね、「うん、そうか、よし、やつとけ」と。ビール1本飲んで機縁の良い時に(笑)。

山本 水島先生にはもっと長生きしてもらわな。そしていいことを話していただかんと。

水島 あんた、口ではそう言つては、腹の中じやもういいかげんにと(笑)。

坂本 僕らの同級生の赤松君が文集に書いてくれたのやけど、ギヨロの若い時代のことを知ろうと思って、昔、鎌倉の女学校の校長してたから、鎌倉に話を聞きにいった。そしたら、すごく優しくて評判の良い先生だった。人間はいろんな多面的なものを持っている。ギヨロもそういう面を持っていたと思うけど、それでもって戦争中の言動が免責になるとは絶対に思えへんな。

空襲・疎開・勉強

西村 昭和20年3月に京阪神の空襲がありましたな。

坂本 13日の夜から14日の朝ですわ。大空襲としてはこれが最初。爆弾を1個か2個落とす散発的な空襲は19年12月ぐらいからありました。

西村 うちは20年6月15日の空襲で焼け出された。その前から空襲があつて、それで自分の家が焼けへんかつたら申しわけないというか、何か肩身が狭くて、はよ自分の家が焼けてほしいなど、そういうころがあったんです。戦争遂行を積極的に捉らえて、勝つためには、というのと同時に、友達が焼け出されて何人か学校に来れんようになってどこかに行きよった。その友達に引け目感じて、はよ焼けたらいいのになとなばっかり思つてたときがありましたね。

徳永 それはありましたね。

西村 それで、3年生で滋賀県の中学に転校したのです。そしたら、今で言う「いじめ」が完璧にありましたね。模擬試験をしますとね、トップ10人位は常に転校生なんです。授業なんておもろのうて、内容は低いし、話題も都会的でないし、すごい格差がありましたね。地元の有名校で、そう標準的に悪くはないんだけども、試験やったら、北野、神戸一中、東京の今の日比谷なんかから転校してきた連中が一杯おりますから、上の方の10人まで転校生、そんなら地元の子はひがむわけですね。だから、平常はぼろかすにいじめられたものです。

鷲田 僕は転校しかけてやめたけどね。ちょうど敗戦になつて助かったんです。ギヨロがよう言うとったね。西に北野あり、東に東京四中ありと。

坂本 あの頃、北野では川尻さんの英語やとか、あんな参考書みたいなものは2年生位で読んでしまつて、趣



味みたいに読んでましたね。エロ本もよう流行ったけど。北野の学力は高かった。

山本 僕らが入った19年は、1学期は応援授業があつたんや。そのとき一番記憶に残っているのはキャベさん、上坂先生、万国音標文字というのを徹底的に教えよつたな。それはやっぱり時流に対する抵抗かな。

鷲田 僕らの入ったときは、まだまともで、食堂もあつたんちがうかな。

山本 カエルの肉のライスカレーみたいなね。1学期の終わりまであった。2学期から勤労動員に出た。大宮町の貯水池掘りに行ったね。

内藤 授業がなくて工場へ毎日行ってても、工場でみんな受験勉強してましたね。

西村 教科書やなしに参考書いうのかな、豆单や赤い表紙の小野寺とか。

坂本 岩切が代数かな。

西村 今の若い連中がマンガの本を読むのと同じようにそういうものを読んでいたのです。

坂本 そうそう。ほかに読む物ないもの。活字に飢えていたから。

鷲田 僕らのときはそうじゃないですよ。敗戦が2年生のときやから。また受験という感じはなかったですね。おかげで受験のときになって往生したわね。何もありあらへんもん。日本史の試験なんていったって教科書はないでしょう。僕は小学校で国史を習つて、それから中学時代はゼロですよ。

坂本 それで歴史の先生(笑)。

鷲田 世界史の教科書をちょうど2年生で習つている時で、墨を塗れと言われて消した。

坂本 僕は経験せずにすみました。3年生やつたから。

徳永 私らはズタズタに消しましたね。

鷲田 僕はそれで歴史をやろうと思ったんです。一番衝撃を受けたから。こんないいかげんなことはあかんと、歴史をはじめにやろうと思いました。

西村 僕ら授業の時間が少なかったから、古代というたつて天皇史観やつたから、神武天皇から始まりますけれども、近代にきたら、もうそこで3学期が終わつてしまつ。若い連中と話してると、彼ら明治から現在までの総理大臣の名前を全部憶えとるものな。僕ら天皇の名前の古いとこばっかし憶えて…。

水島 神武、筑波、安寧、懿德と言うでしょう。あなたの頃はそうでしたか。

坂本 そうでしたよ。一番長いのは軍人勅諭です。「我が國の軍隊は…」というやつを初めから終わりまで覚えにやいかんのです。

西村 よう憶えているな(笑)。

鷲田 「一つ、軍人は忠節を尽くすを本分とすべし」、確か教練の試験に出た。

戦争が終わつて

西村 8月15日は休みやつたんや。滋賀県の家でともかく放送聞いて、同じように大阪から疎開して来ていた

やつと一緒に「戦争終わった」言うて、汽車に乗って
松竹座に少女歌劇を見に行つたんです（笑）。

山本 それはタフやね（笑）。それはすごい。

水島 あなたね、滋賀県でしょうが。

西村 はい。彦根です。

水島 彦根から…。

西村 2時間かかりますね。道頓堀まで。

坂本 やってたんですか。

西村 やってへん（笑）。

徳永 校庭の芋畠、いつごろなくなりましたん。

坂本 それはカボチャが主で、芋はないと思う（笑）。

徳永 芋もありましたで。

坂本 この間も我々の会合でその話が出てね。昭和20年8月15日からしばらくの間の学校の様子がどうやったかなと。僕の記憶では、運動場は穴ぼこだらけやったと思う。至るところにカボチャを作っていた。確か10日位休みやったと思うな。その間に学校を整備して、9月の初め頃から学校が大体平常にもどったんじやないか。

山本 いやいや、そんなのんきな休暇はなかったよ。毎日、服部農園へ行ってたもん。

坂本 いや、服部は戦後は全然行ってないよ。

徳永 僕らは行きました。

山本 9月に授業が再開されたというけど、それからいろいろ問題があって、教科書に墨を塗る作業が始まるわけだ。

徳永 そう。読むなと言われてね。先生が前に立ちましね、「読むな、何ページの何行から何行まで消せ」と言われて、そのまま消しました。

駒田 それで、もういっぺん点検された。塗り方が悪いと言うて（笑）。

水島 戦後すぐは、先生はまじめに授業やってくれなかつた。もう少しまじめにやってほしかつたです。先生方はボーッとしてしまつてましてね。

坂本 虚脱状態ですね。

山本 水島先生はあのギヨロの糸弾集会（本誌19号座談会参照）の日のこと憶えておられますか。

水島 私は初めて聞きます。全然知らないですね。

徳永 私ら1年生で、椅子がなかつたから一番前に座られた。

駒田 ものすごい熱気で講堂一杯やつたな。

徳永 戦争が終わりまして、先生方が復員されてきて、多分10月頃まででしょうね。その時に、依然として「鬼畜米英をお前らは、もういっぺんやつつけにやいかん」という話を何人もされましたよ。その後1年位すると、教員組合の仕事をされたりして、世の中が筆を返すように転換したわけですよ。だから、駒田さんが歴史に関心を持ったとおっしゃつたけれど、私もその通りですね。そういう世の中やつたんです。ギヨロだけを余り言うたらいか



なのです。

水島 田村校長は島根師範学校の校長に転任しました。私が聞いた話ですけど、PTAからも何とかしてほしいと申し出た。府の方もこれでは置いといてもどうもならんからというので、ちょうどあそこに口があつたから。師範学校はこのときは高等専門学校ですから位が一つ上がっていきます。だけれども何といつても田舎落ちですから、田村校長の格好をつけてやつたというところでした。これは余談ですけど、田村校長が師範の校長になって行ってから、校長会があつて文部省に行く時に校長室に挨拶に来られました。浜田校長と私が何か話をしていますと、「やあ」と言うてやって来た。浜田校長は「ハッ、ハッ」と言うだけです。何を言つても「ハッ」だけ。帰る時も腰掛けたままで立ちもしない。あとで僕が「先生、ちょっと田村校長も寂しいじゃないですか」というたら、「だがね、何々先生と何々先生と何々先生の3人は私が何とかします。もう2人の先生は私にはできない。だから田村校長にこの2人だけは何とかしてくれと言つた。ところが田村校長はそれをしてくれない。それどころか、その2人に今度の校長は君を嫌っているらしいぞ、気つけやと言つていつた。だから、あんな人に僕は挨拶しないと言つたのです。浜田先生というたら、やっぱりきつかったです。

（1995.7.19実施。3時間半に及ぶ談話を「①本誌19号の座談会と重複しない②本テーマに即したものとする」の方針で編集した。）

昭和20年の北野（『北野百年史』による）-----

1月 4日	授業開始。軍人勅諭下賜記念日奉戴式。
7日	服部農場（1・2年生動員）産出米の配給。
26～28日	1・2年生中間考查。
29日	4・5年生登校。学校で教練・授業実施。
2月 3日	1・2年生断郊競走。
3月 1日	閱兵分列式。海軍諸学校入学者壮行会。
14日	大阪市に大空襲。4年生1名自宅で死亡。
19日	御真影・教育勅語墨本を茨木中学に奉還。
28日	第58回卒業式。4・5年生が同時卒業。
4月 2日	始業式。
4日	入学式。志願者全員入学（393名）。
16日	授業開始。1年生は運動場を開墾。
17日	生徒当直実施。2・3年生、朝8時交代。
20日	3年生、疎開家屋取扱し作業に出動。
5月 4日	3年生通年勤員壮行会。
10日	和歌山の陣地構築出動生徒の編成式。
6月 1日	第2回大空襲。生徒2名が自宅で死亡。
7日	第3回大空襲。六稜会館・食堂等全焼。
15日	第4回大空襲。当直の2年生2名死亡。
26日	第5回大空襲。
(7月は学校日誌がほとんど欠落)	
8月15日	(学校日誌欠落)
19日	3年生の通年勤員解除。
21日	曜日制復活。
(9～12月の学校日誌等の記録は保存されていない)	

岡野貞一を知っていますか



（『島取県子どものための伝記』）より
歌“六稜の星のしるし”的作曲者岡野貞一氏は『春が来た』

『水師營の会見』の作曲者!!』という記事があり、『日本唱歌全集』（音楽の友社、昭47）に依って、その生涯が簡潔に紹介してある。

ここでは、阪田寛夫氏の談を『どれみそらー書いて創って歌って聴いて』（河出書房新社、1995.1）から紹介しよう（一部要約）。因みに阪田氏は『椰子の実』の作曲者大中寅二（本校28期）の甥に当たり、自身も童謡の「さっちゃん」の作詞者である。

岡野貞一は故郷の島取教会で14歳の時洗礼を受けそこで贊美歌と出会います。その後岡山に行き、岡山教会の宣教師からオルガンを習って音楽の才能を認められ、明治29年東京音楽学校に入学しました。明治の末、彼は東京音楽学校の助教授になり、小学唱歌教科書の編集委員に任せられ、高野辰之らと組んで、大正初めまでに、少なくとも12曲は作曲しています。「故郷」「臘月夜」「春の小川」「紅葉」「春が来た」など。彼は贊美歌育ちですから、メロディにはファもシも入っています。『日本の唱歌』（講談社文庫）の前書きで、金田一春彦氏が、日本の唱歌は贊美歌が手本になっていると書いていますが、岡野貞一の曲がまさにそれです。（略）岡野貞一は物静かな寡黙な方だったようです。クリスチャンですから、東京音楽学校を卒業すると、教鞭をとる一方で、本郷中央会堂という大きな教会のオルガン奏者を務め、聖歌隊を指導していました。以来、42年間にわたって、昭和16年に63歳で亡くなるまで、オルガン奏者としての人生を過ごされたのです。ほんとに無口な方だったようで、近所に講道館の三船十段がおられて、二人で碁や将棋をよく指していたそうですが、三船十段も実に無口な人なので、向合って、しーんとしたまま延々と指していたとか。

阪田氏は、また日本経済新聞のコラム「プロムナード」にも「唱歌もみじ」と題して、岡野貞一のことを次のように書いています。

最近、童謡や唱歌が静かなブームになっていて、それに関する本が何冊も出ている。そこに必ず登場してくる人物に岡野貞一がいる。この名前を聞いて校歌「六稜の星」の作曲者だとすぐにわかる人は、正真正銘の六稜生。愛校心も人一倍と誇ってもいい。すでに本誌11号（1978年）に「校

いわゆる文部省唱歌は、誰が書いたのか長い間公表されないままでいた。今では「もみじ」は高野辰之作詩、岡野貞一作曲と分っているが、岡野の長男国雄氏からうかがったところでは、昭和16年の暮れに父君が亡くなるまで、家族の誰一人もそのことを知らないでいたそうだ。

高野辰之と島崎藤村をめぐって小説風に書かれた猪瀬直樹著『唱歌誕生』（文春文庫）にも岡野貞一は登場し、島取から岡山に出て、教会に入りきさつが詳しく述べられている。

わが校歌の誕生の経緯は『北野図書館報』第9号(1985.2)「六稜外史フラグメンテ(5)」に「『校歌』誕生七十年—作曲者岡野貞一のことなど」と題して柏尾洋介先生が書いておられるので次に転載する。

「今回大典記念の一として校歌撰定の議起り、土井第二高等学校教授に作歌を、岡野東京音楽学校助教授に作曲を依嘱し、十一月十日御大典祝賀式の際五年級一同は式場において新校歌を合唱せり」と校友会誌『六稜』46号が報じたのは大正5年(1916)3月のことであった。

前年の11月に大正天皇の即位式があり、校歌はその記念行事の一環として制定されたことがわかる。『学校日誌』によれば、当日午後2時より講堂で祝賀式を挙げ、その最後—3時半すぎに校歌を歌っている。但し、おそらく合唱ではなく齊唱であろう。梶山延太郎校長着任3年目のことである。

作詞者の土井教授とは、いうまでもなく『荒城の月』の詩人土井晩翠（1871～1952）であるが、作曲者の岡野貞一（1878～1941）につき簡単に紹介しておこう。戦前の文部省唱歌「故郷(毛追いし彼の山)」「春の小川(はさらさら流る)」「臘月夜(菜の花畠に)」「紅葉(秋の夕日に)」や「水師營の会見(旅順開城約成りて)」「橋中佐(かばねは積りて)」「児島高徳(船坂山や)」、さらに「春が来た」「桃太郎」「日の丸の旗」などは彼の手になる。NHKテレビの名曲アルバム(故郷)で知った人もあるだろうが、島取藩士の家に生まれた岡野は岡山に遊学中、米人宣教師に楽才を認められた蓮直な新教徒で、40年以上も本郷中央協会のオルガニストとして毎日曜日、礼拜の奏楽を担当した。

岡野は神奈川大、旧制長崎中学校、函館中部高校などの旧校歌を作曲したが、いまも「現役」で歌われているのは、本校のみであるようだ。

さて、「六稜の星のしるし」に贊美歌の影響はありやなしや。音楽理論に詳しい方、研究されてはいかが。

会 務 報 告

- 総会 (1994. 10. 30)
- 1、会務報告
 - 2、卓話 竹山 聖氏 (85期)
 - 3、パーティー
- 常任理事会 (1994. 10. 11)
- 1、常任理事の役割分担と責任者の決定
総務 原田 彰 (65期) 財務 内藤 寿一 (61期)
基金 尼崎 寿雄 (58期) 広報 岸田 知子 (78期)
名簿 神宅 寿昭 (67期) 総会 菅 正徳 (69期)
 - 2、北野高等学校国際交流基金(案)の審議
- 常任理事会 (1995. 4. 25)
- 1、国際交流基金 ¥10,000,000 提出する。
 - 2、北野高等学校国際交流基金規約の決定
- 3、本年度国際交流活動への同窓会よりの援助金の決定
- 4、内藤伸彦(87期)常任理事の後任として福田 稔(83期)に委嘱
- 5、新校舎建設計画に同窓会はどう取り組むか。
同窓会館、歴史資料館の建設の諸問題
- 常任理事会 (1995. 6. 10)
- 1、平成6年度会計報告とその承認
 - 2、国際交流活動の報告
 - 3、本年度総会の決定 総業俱楽部(中央区)総会、パーティー
卓話 加地伸行氏(67期)「儒教と現代」
- 理事会 (1995. 6. 10)
- 1、会計報告、国際交流、総会の報告とそれらの承認
 - 2、新校舎建設の経過報告、青写真の発表

会 計 報 告

120周年記念事業特別会計報告

平成6年度 六稟同窓会一般会計報告

取 入 の 部		予 算	第一次決算	1994年度収支	最 終 決 算	科 目	平成6年度予算	平成6年度決算	備 考
		円				科 目	円	円	
1	募金収入(同窓会)	85,000,000	73,965,897		73,965,897	1 収入の部			
2	募金収入(PTA他)	5,000,000	6,998,000		6,998,000	1 前年度繰越金	714,514	714,514	
3	積み立て金(PTA他)	2,100,000	2,000,000		2,000,000	2 入金収入	500,000	969,000	
4	記念祝賀会会費収入	10,000,000	9,729,000		9,729,000	3 年会費収入	10,000,000	8,215,000	
5	名簿特別会計から	17,000,000	13,000,000		13,000,000	4 臨時会費収入	1,200,000	1,035,000	
6	利息収入	500,000	707,627	297,091	1,004,718	5 寄付金収入	0	102,000	
7	寄付金収入	0	30,000		30,000	6 利息収入	5,000	9,810	
8	記念品売上収入	0	360,000		360,000	7 記念品等売上収入	0	399,000	
	取 入 合 計	119,600,000	106,790,524	297,091	197,067,615	8 税収入	0	8,100	
	支 出 の 部	予 算	第 一 決 算	第 決 算		9 他会計からの繰り入	0	4,271,925	基金会計から
1	記念事業費	22,840,000	22,978,360		22,978,360	10 他会計からの繰り入	2,000,000	1,045,857	名簿会計から
(1)	記念CD製作費	6,240,000	6,458,870		6,458,870	收 入 合 計	14,419,514	16,770,206	
(2)	記念誌製作費	12,000,000	11,576,245		11,576,245	支 出 の 部			
(3)	六稟会費	4,600,000	4,596,352		4,596,352	(1) 通常費	7,200,000	6,536,939	
(4)	北野120年展	0	316,893		316,893	1 人件費	2,500,000	2,446,710	
2	記念行事費	20,300,000	21,713,358		21,713,358	2 総務	0	0	予備費から 1,392,000
(1)	記念音楽会	2,500,000	2,500,000		2,500,000	3 総務・交通費	300,000	300,000	予備費から 62,680
(2)	記念式典費用	4,500,000	4,166,307		4,166,307	4 通信費	400,000	286,805	
(3)	映像制作費	2,000,000	4,143,920		4,143,920	5 印刷・事務用品費	400,000	400,000	予備費から 2,402,337
(4)	記念講演	100,000	100,000		100,000	6 会議費	500,000	351,550	
(5)	祝賀会費	10,000,000	9,649,411		9,649,411	7 総会費	2,000,000	1,883,100	
(6)	記録費	1,000,000	960,053		960,053	8 座席費	700,000	560,300	
(7)	城費	200,000	193,667	420	194,367	9 税費	400,000	308,474	
3	運営費	13,990,919	16,395,845		23,619,061	(2) 会報発行費	6,000,000	4,793,216	
(1)	経営書印刷発送経費	6,490,919	6,490,919		6,490,919	1 総務費	90,000	90,000	
(2)	プログラム製作費	500,960	1,017,125		1,017,125	2 印刷費	2,910,000	2,546,081	
(3)	臨時会報発行費	4,000,000	3,859,755	7,223,206	11,082,961	3 発送費	3,000,000	2,067,135	
(4)	印刷・事務用品費	200,000	688,314		688,314	(3) 予備費	1,019,514	4,007,617	
(5)	発送費(記念誌・CD)	2,000,000	2,691,611		2,691,611			1,392,000	(1) 2 総務
(6)	通運費・交通費	200,000	397,621		397,621			62,680	(1) 3 総務交通費
(7)	総費	600,960	1,250,500		1,250,500			2,402,337	(1) 6 印刷事務用品費
4	予備費	2,469,061	2,342,650		2,342,650			150,000	(5) 國際交流援助金
	人件費		2,342,650		2,342,650	(4) 全国大会出場援助	200,000	120,000	
	支 出 合 計	59,600,000	63,930,213	7,223,626	71,153,839	(5) 國際交流援助金	0	0	予備費から 150,000
	収 支 差 額	60,000,000	42,860,311		35,933,776	支 出 合 計	14,419,514	15,367,172	
	基 金 設 立	50,000,000	35,000,000		35,000,000	次 年 度 準 繩 金	0	1,403,834	
(1)	国際交流基金	20,000,000			10,000,000				
(2)	同窓会館建設基金	40,000,000			25,000,000				
	総 結 諸 高	0	7,860,311		933,776				

平成6年度 六稜同窓会名簿特別会計

科 目	平成6年度予算	平成6年度決算	備 考
収入の部	円	円	
1 前年度繰越金	131,903	131,903	
2 名簿売上収入	3,000,000	2,109,200	
3 タクシーメリット上収入	30,000	31,150	
4 寄付金収入	0	120,000	
5 利息収入	30,000	67,319	
6 他会計からの借入金	0	1,021,000	基金会計から
収入合計	3,191,903	3,480,572	
支出の部			
1 発送費	800,000	138,360	
2 名簿管理関連費	300,000	116,133	
3 通信費	100,000	0	
4 雑費	100,000	13,890	
5 予備費	391,903	0	
6 他会計への繰入金	0	1,045,857	一般会計へ
7 基金会計への積立金	1,000,000	1,000,000	
8 次回名簿発行準備金	500,000	0	
支出合計	3,191,903	2,314,240	
次年度繰越金	0	1,166,332	

平成6年度 六稜同窓会基金会计

科 目	決 算	通 篇
収入の部	円	
1 前年度繰越金	103,590,528	
2 利息収入	2,107,824	
3 寄付金収入	1,000,000	
4 名簿会計より繰入金	1,000,000	
収入合計	107,698,352	
支出の部		
1 北野高等学校国際交流基金に拠出	10,000,000	
2 一般会計への貸付金	4,271,925	
3 名簿会計への貸付金	1,021,000	
支出合計	15,292,925	
次年度繰越金	92,405,427	

以上の通り平成6年度六稜同窓会会計報告をいたします。

平成7年6月10日 六稜同窓会会長 稲畠勝雄
本会計の正確であることを認めます。

平成7年6月10日 六稜同窓会監事 滝井尚三
六稜同窓会監事 桥田圭児

北野高校国際交流基金設立

北野高校国際交流基金が、120周年募金の成果の内から1000万円をもって設立された。

北野高校では5年前からアメリカ・ワシントン州シアトルの近くのケントウッド高校との交流を行なってきた。1990年3月、当時の体育科係原教諭(柔道6段)が、全国高体連の派遣で同校を訪問し柔道の指導を行なったことが機縁となり、教員の交流が始まり、1992年夏にケントウッド高校生徒2名が来校し、2週間ホームステイ。1993年3月には北野から教諭2名、生徒4名が同校を訪問、3週間ホームステイ。以後、同様に続けられている。

近年、教育の場においての「国際化」が図られるようになり、例えば本校は今年8月よりAET(外国人英語指導助手)の配置校になる。また、昨年から英語科のカリキュラムの中にオーラルコミュニケーションが入ってきていている。こうした動きに加え、本校の場合、国際交流の実績がすでにあるので、これを継続しさらに発展させるために「国際交流基金」創設を120周年記念事業の一環として取り組んできたのである。この基金の規約の要約は次の通りである。

(目的) 北野高等学校の国際交流活動を発展させ、これを援助することを目的とする。

(事業) 北野高等学校の教職員と生徒が国際交流を目的として外国に派遣される際に、援助金を交付。外国から教職員・生徒が国際交流を目的として来校する際にもその費用を援助。

(基金) 本基金は120周年記念事業会計からの拠出金をもととして発足。今後は寄付金などによって運営される。本基金は北野高等学校内に設置。管理、運営は北野高等学校が行なう。

(選考) 本基金の授与申請があったさいに、北野高等学校国際交流振興会が審査委員会を開く。

(審査委員会の構成) 校長、教頭、事務長、教職員4名、同窓会2名、PTA2名。

本年2月に基盤が設けられたが、昨今の低金利下、利息だけでは足りないので、六稜同窓会基金の果実からも援助をすることになった。基金の額を増やすことが今後の課題である。すでに数件のご寄付をいただいている。専用の口座を設けたので、趣旨をお汲み取りの上、ご協力をお願いしたい。

住友銀行十三支店 普通預金口座 1141617 口座名義 「北野高等学校国際交流基金」 大阪府立北野高等学校長 山崎浩和
--

寄付 1995.7.31現在 受付順、敬称略。

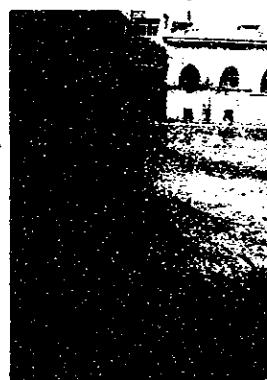
山下敏文(父兄) 100万円 阿辻哲次(82期) 5万円
84期同窓会同期会 5万円 清水曉雄(76期) 14,883円

阪神大震災 会員に犠牲者 校舎にも被害

1月17日未明の大地震で淡路島北部と神戸・阪神・大阪北部に大きな被害が出たが、六稜同窓会会員も多数被災した。正確な数は不明であるが、同窓会事務局に入った情報によると、篠原俊介さん(41期)、林政雄さん(50期)、大泉清さん(62期)、成宮久喜さん(92期)の4名が亡くなられた。心よりご冥福をお祈り申し上げます。負傷された方、ご家族が亡くなられた方、ご自宅が全半壊された方など、多くおられるよう聞く。お仕事に支障を來した方もあるだろう。もはや8ヶ月を過ぎる。町にも人にも復興の日の早いことを衷心から願う。

北野高校の地震による被害は、グラウンドの一部液状化、ガス管破損によるガス漏れなどであったが、いずれも大きなものではなく、授業は地震翌日から支障なく行なわれた。

液状化したグラウンド
(撮影・矢作先生)



図書館では中二階書庫の書架の大半が倒れるなどかなりの被害があり、復旧のために本の貸出しが1月末まで停止された。

書架が倒れた図書館書庫
(撮影・高橋先生)



森繁久弥さん(45期)が震災を受けたふるさとに宛てた詩が東京新聞(1月27日付)後に中京新聞、神戸新聞にも掲載された。以下に紹介する。

「我を育てし兵庫の里よ、友よ」

怨憎会苦といいます。修羅の巷と化した被災地には、言葉もつります。

天災とは全く無惨なものですね。

はたして対岸の火事でしょうか。遠くに居る無私の老人は迷います。そして心を奈落の底にいためます。

やがて、加えて昨日、今日の青空は、生き物への嘲笑でしょうか。

紅梅のこの赤の そら怖ろしげな

腕さすり 煩つねる 昨日今日

兄等の無事を どう祈るや その術もなき

雲流る 六甲よ

田上泰昭先生ご逝去



平成7年5月8日、田上泰昭先生が亡くなられた。先生は、昭和30年に北野に着任、平成2年退職、その後も講師として北野の教壇に立ち、熱意と愛情を込めて漢文の世界を語ってこられた。先生の授業に魅せられて、中国学の専門家になった卒業生も多い。

先生は文学を愛し、水泳を愛された。水泳部はもとより、夏の水泳講習でお世話になった人も多いはず。野球やラグビーの試合には必ず応援に行き、花園出場の時は「北野そのものが美酒である」と語られた。

かつて「私は72歳で死ぬことにしている」と書いておられた。72歳というのは孔子の亡くなった歳。還暦の時、だれよりも長く泳がれたという元気な先生のこと、80、90までもと確信していたのに、2年足らずの闘病のかいなく、65歳で旅立たれた。心よりご冥福をお祈りする。

なお、ご蔵書の一部を先生のご遺志により北野高校及び六稜同窓会にご寄贈いただくことになっている。

また、中国学研究者として、永遠の文学青年として、北野を愛する教師として、先生は多くの優れた論文やエッセイを残された。それらをまとめて著作集を刊行しようという計画が現在進められている。

林文庫整理完了

元本校校長林武雄先生の御逝去のおり、未亡人林三保子様から御寄贈を戴いた「林文庫」全百三十五冊の分類、登録が完了しました。書名は次の通り。

- ▽世界美術大全集西洋編全28巻(小学館)
- ▽野間宏全集全23巻(筑摩)
- ▽芭蕉全団譜(岩波書店)
- ▽日本土木史(岩波書店)
- ▽森茉莉全集全8巻(筑摩)
- ▽平安時代史事典(角川書店)
- ▽ドーミエ版画集成(みすず書房)
- ▽精選復刻紀伊国屋新書
文芸・芸術セット全35巻
- 思想・社会セット全35巻
- ▽日本歴史館(小学館)
なお林三保子様は昨年五月二日にお亡くなりになつた。享年八十一歳。

バカリキさん逝く



バカリキこと六稜同窓会名物男の岡田喜雄さん(40期)が平成7年1月2日に亡くなられた。享年85歳。同窓会行事には必ず制帽、ハッピ姿で現われる岡田さんをご存知の方が多いであろう。北野を愛し、六稜魂を愛することでは決して人後に落ちないと、自他ともに認める人物であった。

津の北野中学跡に記念の碑を建立するに尽力し、また近年は大阪城梅林の梅見の会の世話をなどもされていた。彼と親しい人達の間では、彼の思い出を語る集いを、との声も上っている。

「岡田君が、亡くなられる前に、1月1日にわしの家に20人か30人集まってくれないかと昔ってきたのです。何分にも正月のことですから、もう少し先にしては、と言つておいたのですが、1月2日に死去されてしまいました。あんなことになるのなら5人でも10人でも集めてあげるべきだったと後悔しています。」

(41期北橋忠男さん談)

会員News

★故萩原尚一さん(50期)の夫人洋子さん(宝塚市在住)から、尚一さんのご遺志として六稜同窓会に100万円のご寄付があった。山峰名誉会長と稻垣会長連名の感謝状が贈られた。なお、洋子さんの母校夕陽丘高校の同窓会にも同額の寄付をされた。

★吉良竜夫さん(前滋賀県琵琶湖研究所長、49期)が南方熊楠賞(自然科学の部)を受賞された。吉良さんは京都帝大農学部卒業、同学部助教授から大阪市立大学理学部教授になり、同理学部長を務められた。1982年から滋賀県琵琶湖研究所長、現在は滋賀県顧問(琵琶湖研究所担当)をしておられる。今回は環境保全に関する基本的研究分野としての生態学の研究に大きな業績を上げてこられたことに対して賞が贈られた。

★本年、戦後50年と卒業50年が重なる58期生は記念文集の発行を計画、年初来就意努力して来たが、このほど発刊の運びとなった。旧師3名・遺族4名を含む98名の寄稿を得たが、太平洋戦争勃発の前年に入学、終戦の年に卒業という特異な経験や思い出が語られ、母校北野中学校史の補完はもちろん、貴重な戦中史の一鈞を形成していると言えよう。B6番・390頁・堅表紙・麗美箱入りの豪華本で、希望者には予価6千円(送料とも)で頒布する。申し込みは、

〒530 大阪市北区西天満6-7-4大阪弁護士ビル 609号

清木法律事務所 TEL 06-365-1005
FAX 06-365-5078

★61期同窓会記念誌(創立120周年記念)『十三堤』が刊行された。先生4名の寄稿を含む65篇からなる文集で、戦時中に在学していた期だけに、そのころの思い出がやはり多いが、どの文章も期を越えて胸を打つ。巻末の当時のクラス集合写真8葉が楽しい。本誌の問い合わせは内藤壽一さん・栗田仙次さんまで。なお、北野高校図書館に2部寄贈されてある。

★120周年寄付者の追加 (敬称略)

61期 真砂泰三 1万円
66期 田尻 弘 1万円

応援歌第二の誕生のいきさつ

昭和9年、応援団長であった柔道部の尾崎克幸氏(48期)と副団長の岩尾一氏(48期)が相談し、応援歌第一(「瀬江春の」)の曲は軍歌で歌われ、当時どこの小学校の運動会でもこの曲が流されていたので、ひとつ陳腐でないものを作ろうではないかということになった。

曲は、岩尾氏が幼少の頃から父君が常に口ずさんでいて、自身もよく歌っていた山口高校の歌で「ラインの水」という曲を借りることにし、歌詞は岩尾氏が作詞した。

10月に十三駅前の印刷屋で作り、学校に持参した。5年生が特機して全校生徒を集め、朝礼で口移しで覚えさせた。教頭の友田力先生も一緒に覚えてくださったといふ。こうした努力の甲斐あって、昭和9年11月23日の天王寺中学とのラグビー定期戦では、20対10のスコアで勝つことができた。ただ、翌々日の25日に天理中学に14対13の僅差で負けて全国大会に進めなかったのが残念であった。(以上、1994.10.2の六稜ラガークラブ東京支部総会での岩尾一氏の談に依り60期大岩重雄記す。)

応援歌第二「瀬江の水」

- 一、瀬江の水潤るるとも 燐ゆるは吾等が血潮なる
ああ六稜の星の下 意気に逸れる若人の
をたけび高き勝ちどきに 今日初陣の陣太鼓
- 二、白雲ゆきて松風に 忍従のとき幾春秋
栄枯盛衰移りゆき いま荒鷺の翼もて
六甲山下錦城に 順業を目指す吾が選手(三、四略)



昭和9年11月23日 天王寺中学校との定期戦 20対10で勝。応援席に「北中」の人文字が見える。

Party Reports (同窓生の各種集いの報告をこの欄にお寄せください)

東京六稟会第38回総会

東京六稟会第38回総会が緑濃き6月7日(木)午後6時より丸の内の日本工業俱楽部で開催されました。当日の参加者は181名。岩木俊氏(63期)の総合司会で幕を開け、東京六稟会河崎晃夫会長の挨拶に続き六稟同窓会名誉会長山崎浩と校長先生より母校の近況報告がありました。進行中の校舎建て替え計画のお話もありました。引き続いて76期上野昭彦氏(東京工業大学生命理工学部教授)より講演がありました。「超分子」という普段聞きなれない物質が、日常生活の場で夢の添加剤として大いに活躍していることを興味深く聴くことができました。7時よりのパーティーでは時の過ぎるのも忘れ、年代をこえた交流の輪が広がりました。また、恒例の抽選会が行われ、昨年に引き続いで佐伯祐三をはじめとする類付複製画やいろいろな景品が当選者に手渡され好評を博しました。賞品提供者には改めて感謝いたします。校歌、応援歌合唱と続き、会は最高潮のうちに幕を閉じました。最後に協力いただいた76期生、特に多大な労力を提供された女性陣にお礼申し上げます。(76期 伊藤要一記)

三田六稟同窓会(仮称)設立準備会

三田市には55期から106期まで70数名の六稟生が在住しており、同窓の親睦をはかるのみならず、地域社会活動のネットワーク拠点として三田六稟同窓会(仮称)を設立する運びとなり、5月27日(日)三田サミットホテルで設立準備会を開催した。三田在住の中島直己先生を来賓にお迎えし、27名が参加。校歌齊唱に始まり、自己紹介など大いに盛り上がり、予定時間を1時間も延長。正式の発会に向けて、会長に末松千代治(62期)、副会長に楠本利郎(65期)、世話を人に平島尚武(71期)前川正子(72期)今社さとえ(78期)を選出した。若い人達からも積極的な参加申し出が相次ぎ、今後の活動が楽しみである。(78期 林田 隆記)

卒業35周年記念「さんご会」

昭和35年3月に卒業した72期生の学年同窓会「さんご会」が、卒業35周年を記念して6月17日(土)に開催された。恩師7名(零石、寺田、石田、博木、山根、稲葉、野々村各先生)と同期生140名が出席。母校講堂にて、校舎改築基本設計案をまとめた高橋清文君(高橋上田設計事務所副所長)から模型図をもとに説明を受けた後、2階教室にわたりて先生方のミニ講義を受講。その後、会場をプラザ・オーサカに変えて楽しい宴の一時を過ごし、全員の記念写真を撮って散会した。次回は3年後に開催することを約し、代表幹事と年度理事を西野敏克君、西森文彦君、亀谷綾子さんに交替した。

(72期代表幹事 磐村昭夫、戸谷孝子)

三校対抗陸上競大会

北野、天王寺、岸和田三校による対抗陸上競技大会が8月19日に金岡陸上競技場で開催された。今年は、第50回の記念大会で試合の模様が毎日放送の当日夕刻のニュース番組で紹介された。試合後、会場をホテル日航大阪に移し記念パーティーが催され三校の校長を来賓に仰ぎ、各校OB400名がお互いに旧交を温めると共に、新たなる50年を目指して力強い一步を踏み出した。

(鶴脚佐記)

六稟61期同窓会

6月24日(土)恒例の同期会総会を新阪急ホテル星の

間に開催。今年は、水島、零石両先生にご出席いただき、御夫人方8名を加え87名の盛会であった。しかも卒業以来初参加という人が3名、九州・東京から馳せ参じてくれて、和気あいあいの2時間半であった。この1年の計報は杉野智君(平成7年5月没)1名である(合掌)。次回は平成8年7月6日(土)新阪急ホテルにてと決定した。(アンケート結果は①毎年開催賛成90%②会場割りき賛成90%③現在の会費が適当73%となった)

(内藤壽一記)

六稟七四会

74期に因み、今年から毎年7月第4土曜に開くことになった我々の同窓会、今年は7月22日に開催された。担当クラス1組の計画の元に先生方4名を含め、約60名の仲間が集まつた。型通りの事務報告の後、1組出身である京大工学部教授芦田謙君により「21世紀における地球環境の環境問題—持続可能社会を築くためにー」と題した卓話が行われた。ピール、ライトドリンクなどを口にリラックスした雰囲気の中、人口、食料、エネルギーそして地球環境における現在およびこれから的问题点をユーモアを交えて話が進められた。普段の語る立場から聞く立場になつた、4名の先生方も、真剣な面持ちで話に耳を傾けておられた。卓話の後、乾杯、会食談話、記念撮影、ビンゴゲームと進み3時間におよぶ1次会終了。後は店を変えて飲みにいく者、その場に居残って飲む者とそれぞれの2次会を楽しんだ。来年は7月27日に行う予定。

(鶴脚佐記)

第30期生(昭和43年卒)同窓会

第30期(昭和43年卒)の同窓会が、平成6年10月22日に大阪玉姫会館で開催された。旧担任の先生方は、稻葉健一郎、小西寛一、真田重雄、須原浩之、田中博、中野裕二、福田博造、藤尾直正、御堂岡啓、山本敏文の10先生がご出席。リレー式の全国電話連絡網で網羅し続けた結果、幹事も驚きの142名が集うという、この年齢にしてはまさに大盛会となつた。趣向の多い会場とて、稻葉先生が同窓生“美人”総代とともにスモーケ付きゴンドラで下りてこられるや、会は冒頭から一気にたけなわとなり、円形の宴会場は、往年の六稟生のパワーを見せつけた熱気に満ち溢れた。ホールルームの再現写真、昔言えなかつた一言、未来へ向けてのコンタクトなどと、旧担任の諸先生方を交えながら、はるか26年前へのタイムトリップを果たし、この長い期間の空白を埋めるうちに、夕べの集いはまたたくうちに過ぎていった。

なお、第30期の同窓会は、要望があれば再々開くという方針となっており、案内漏れのあった方から代表幹事・近藤典子(旧姓岡田、電話0798-71-0219)へのご連絡をお待ちする次第である。

(稻垣耕作記)

102期同窓会

3月5日(日)午後3時より102期(平成2年卒)の同窓会が母校食堂で開催された。卒業後5年を経過し、同期諸君の間に機運が高まっていたこともあり、参加者は220人を越えた。先生10人を交えて、再会を喜びあつた。途中ビンゴゲームなども折り込み、最後には全員で校歌を歌って、2時間は瞬く間、盛会のうちに終了した。梅田での2次会にも100人以上が参加し、夜遅くまで大変な盛り上がりを見せた。次回は5年後の開催を目指している。

(102期学年理事 馬場肇記)

GOLF-----

第7回ゴルフ天高戦

六稜・桃陰対抗ゴルフは平成6年11月10日、西宮高原ゴルフ倶楽部にて開催され、天王寺側40名(内女子5名)北野側35名(内女子6名)が参加。男子上位20人、女子上位5人のグロス合計で北野が勝利。これで通算北野の5勝1敗1分けになった。ただし、今回も男子合計では敗れており、女子の活躍に負うところ大きく、「北野は元高女でつか」と皮肉られるのがつらい。

第8回は平成7年4月、琵琶湖を予定していたものの、震災のため延期。11月16日(木)西宮高原にて開催される。

(69期 菅正徳記)

第6回期別対抗ゴルフ大会

95年度の期別対抗ゴルフは6月24日(土)西宮高原ゴルフ倶楽部で開催され、65期から78期までの14期の間で朝が競われた。オープン参加の60期、62期、63期、それに菊川暎人先生を交え、参加者は131名という大盛会となつた。各期の1・2・3・5・7位の合計で順位を決

定し、結果は次の通り。71期が2年連続優勝を手にし、嘗ての「常勝」72期は雪辱を果たせなかった。また、初参加の78期が6位にくい込む健闘を見せた。

1位	71期	441	8位	73期	490
2位	72期	444	9位	65期	491
3位	67期	462	10位	75期	496
4位	69期	468	11位	74期	516
5位	66期	481	12位	70期	526
6位	78期	481	13位	77期	527
7位	68期	484	14位	76期	543

個人順位	1位	72期	藤本紀男	77
	2位	78期	林田 隆	81
	3位	66期	中西藤和	83
	4位	67期	神宅寿昭	83
	5位	71期	松本 将	83
	6位	78期	田中直明	83

伝言板

同窓会の連絡、会員へのお知らせなどにこのコーナーをご利用ください。掲載申込みは事務局まで。紙面の都合上、文面を改変することがあります。

(营利を目的とするものなど、本誌の趣旨に添わない場合はお断りいたします。)

★「梅見の会」を毎年2月最終土曜日午前11時より行っています。場所はもちろん大阪城梅林です。北野創立100周年を記念して大阪市に寄贈した梅林も立派に成長し、大阪の名所になっています。若い方もお誘いあわせの上、「六稜」の旗を目印にお集りください。詳細は同窓会事務局にお問合せください。

★「北野中学校跡記念碑」が中津済生会病院旧館前庭にあるのをご存知ですか。ここに旧制北野中学があったことを記念して建てられたものです。毎年4月20日午前11時にこの碑の前で昔日をしのぶ集いが行なわれています。参加希望の方は同窓会事務局にお問合せください。

★『有間皇子物語』(関西書院)という本を出版しました。当方、54歳で商社を退職、以後南紀白浜にて文筆生活を送っています。前作『古事記の幻影』はこの会報にも取上げていただきました。今回の作は有間皇子の短くも悲劇的な生涯を小説にしたものです。お読みいただければ幸いです。

57期 前田文雄 (0739-43-0160)

★六稜六七期会(S30卒)卒業40周年記念同期会を1995年11月18日(土)~19日(日)の2日にわたって、有馬グランドホテルで開催します。日帰り・1泊は各自のご都合でお決めください。詳細は9月初旬ごとに個別にご案内します。幹事 神宅寿昭 TEL 昼06-375-2778 TEL 夜06-364-0620

★76期では毎年11月最終土曜日に有志忘年会を行なっています。去年は約50名の参加がありました。どうぞふるってご参加ください。また、1996年4月ごろに同窓会を開催する予定ですので、連絡をお待ちください。

連絡先 学年代表 奥田 稔 0726-96-7628
事務局 北岡 满 06-365-1303

★78期東京地区同期会を今年10月14日(土)に開催します。関東在住者にはお知らせしますが、最近転居してきた人、単身赴任者など、同窓会会員名簿に関東の住所の記載のない人は連絡してください。

連絡先 蓮沼和彦 03-3442-3406(自宅)03-5252-2190(会社)

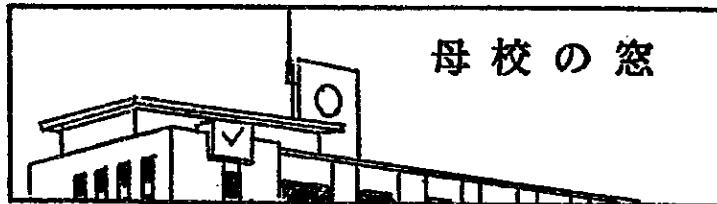
★78期卒業30周年同期会総会は来年1996年11月3日に予定しています。盛りだくさんの企画を考えています。どうぞ参加のご予定を。また、それにあわせて、記念写真集、文集、名簿を収録したCD-ROMの制作を計画しています。詳しくは78期会報で。

六稜78期会のホームページを試みに開きました。同期会運営委員会報告や記念写真集編纂への協力のお願いなどを掲載しました。URLは<http://hp715.kozo.kuchan.kyoto-u.ac.jp/dokikai.html>です。

★六稜同窓会マーリングリストのご案内へ最新のインターネット人気にはなかなか目を見張るものがありますが、実は我が六稜同窓会にも電子メールによるマーリングリストがすでに存在します。創設は2年ほど前で、神戸大学の山口一章氏(98期)が管理作業をしています。参加者は現在50人前後ですが、流量はそれほど多くありませんので、パソコン通信(Nifty Serve, PC-VAN等)からでも充分に参加が可能です。参加希望の方は

rikuryou-request@urashima.ics.es.osaka-u.ac.jp
にその旨お送りください。

(102期 馬場翠)



母校の窓

職員異動

ご退職

宗平 大三郎 先生(英語 H1~H7)
宗平先生は、引き続き非常勤特別嘱託として本校のお務めです。

ご転任

八尾隆先生(数学 S53~H7)
府教委高校教育課へ
山崎長生先生(英語 S57~H7)
東寝屋川高校へ
石田美枝先生(英語 S57~H7)
吹田東高校へ
下沖修己先生(保健 S58~H7)
池田北高校へ
内藤伸彦先生(美術 S60~H7)
山田高校へ

ご着任

中島啓介先生 数学 (野崎高校)
堀池尚文先生 英語 (山田高校)
山本周一先生 美術 (茨城西高校)
石田和弘先生 英語 新任
植野秀伸主査 事務 (少路高校)
川端和美主事 事務 (北千里高校)

ご不幸

田上 泰昭先生のご逝去については16頁でお知らせしておりますが、昨年の8月に別歿 忠治郎 先生(S17~S23 体操)同じく昨年の10月には山川 信夫 先生(S8~S23 歴史)が、お亡くなりになりました。ご冥福をお祈り申し上げます。

平成7年度 全国大会等出場激励金

近畿大会 陸上部個人 男子800m
(3年 佐々尾 秀樹) 10,000円
近畿大会 陸上部個人 女子走幅跳
(3年 羽馬 梓) 10,000円
全国インターハイ 山岳部
男子団体 70,000円
以上の通り、同窓会より激励金をいただきました。

平成6年度 (第11回) 文化活動振興賞 決定

第11回 文化活動振興賞は、吹奏楽同好会に贈られることになり、6月4日文化祭当日校長室にて、選考委員立ち会いのもと授与式が行われた。主な実績は以下のとおり。

平成6年度大阪府吹奏楽コンクール初出場、小編成の部で北地区優秀賞、府大会で奨励賞を受賞。大阪府高等学校芸術文化祭に参加。

創立120周年記念式典での演奏。

平成7年度 (第5回) 文化活動助成金 決定

写真部に第5回文化活動助成金が与えられることになった。平成9年からの校舎改築に伴い、本校舎の細部にまでわたる記録を後世に残すという取り組みに多くの期待がかけられての助成金授与となった。

文化祭記念講演

北野では、毎年文化祭行事の一つとして、卒業生による記念講演会を開催している。本年は5月30日に講堂にて次のお二人にご講演を戴いた。
○阿辻 哲次 氏 (S45卒 82期)
(京都大学総合人間科学部助教授
中国語学・漢字学)

演題「現代中国の文字風景」
○家 正則 氏 (S43卒 80期)
(国立天文台教授兼東京大学教授
大型光学赤外線望遠鏡計画推進部)
演題「宇宙の過去を見る」

クラブだより(8月1日現在)

【陸上競技部】

インターハイ地区予選を勝ち抜いて、6月4日の大阪インターハイでは佐々尾秀樹が800mで1分57秒49、羽馬梓が走幅跳で5m39を出し、山下智也が5000mに、男4X100R(井上、川村、長澤、川内)、女4X100R(福岡、羽馬、青山、井上)、男

4X400R(井上、川内、深井、漆原)も出場。これに勝ちぬいた佐々尾、羽馬は近畿地区予選会に出場、佐々尾が800m予選で1分57秒29で準決勝へ進み、羽馬は走幅跳で5m30の記録をだした。

現在、陸上競技部は、男子24名、女子20名、マネージャー3名です。

【女子バスケットボール部】

高校総体2回戦 対箕面自由68-45〇
公立高校大会 対東淀川 55-25〇
定期戦 対天王寺 42-25 ○
新人戦 対高槻南 40-69 ×
高校総体予選 対池島 43-49 ×

一年生もたくさん入り活気いっぱいがんばっています。 達志(連絡先) 箕面市半町3-14-38

【器械体操部】

春季大会の二部で、長谷川個人総合11位 床は7位

今後の目標は、二部大会、府立大会で団体6位以内に入ることです。

【ラグビー部】

全国大会予選

一回戦 対成器高64-0
二回戦 対高津高38-0
三回戦 対関西創価高7-34
新人戦 一回戦 対市岡高5-0
二回戦 対摂陵高29-3
三回戦 対枚方津田高12-15
春季大会 一回戦 対成城工29-5
二回戦 対関西大倉高8-10
定期戦 対洛北高45-0〇 対神戸高26-10〇 対天王寺高7-17×
7人制大会…優勝

今年で創部72年目を迎え花園を目指し、練習を重ねています。

【男子テニス部】

春期赤坂杯 谷口 本戦出場

サマーカップ 谷口・石原ダブルス本戦出場

夏期総体 管野本戦出場

インターハイ 石原 シングル5位

谷口・松永 シングル ベスト16

大阪オーパンダブルス 谷口・石原 優勝

今、一年生だけで活動しています。

【硬式野球部】

秋季近畿地区大会 1回戦対池田北14-4 2回戦対春日丘 10-14
春季近畿地区大会 1回戦対淀川工3-10 定期戦 対天王寺 7-0

対市岡 0-4
次期を担う1・2年生は基礎を着実に固め、秋には甲子園を狙える位に成長し、元気で明るくピンチに強いチーム作りに励みます。

【ハンドボール部】

男子

市民大会

Aチーム 優勝 Bチーム 3位
豊中一埠定期戦 20-9 ○

女子

4月公式戦 対成蹊 17-14○

対桜宮 3-8×

6月会長杯 対豊中 11-4○

対刀根山 2-11×

男子 中央大会出場へ向け練習中。

女子 今年は部員も24名と大所帯。今年こそ中央大会を目指します。

【男子バスケットボール部】

公式戦 大阪高校総合体育大会 1回戦対島飼110-43○ 2回戦対豊島65-77× 公立高校大会 対東豊中105-33○ 対渋谷76-52○ 対島上太冠77-73○ 対豊中30-77× 対吹田70-25○ 対西野田工83-57○ 新人大会 1回戦 対山田72-98× 全国高校総合体育大会予選1回戦対箕面50-52×
定期戦 天高駿 対天王寺64-49○ 四校定期戦は震災のため今年は中止
(連絡先)西宮市苦楽園二番町10-41 岩田 江一

【男子バレー部】

H6高校総体 対茨木西 0-2× 対茨木東 7-0○ 府立校 対箕面 0-2× 対島上大冠 2-0○ 秋の部別 対成城工業 2-0○ 対堺西 2-0○ 対住吉 2-0○
H7泰高バレー 対枚方 2-0○ 対寝屋川 0-2× 西田杯 対大阪学院 0-2× 対柴島 2-0○ 春の部別 対登美丘 1-2× 対島上大冠 2-0○

対東淀工 2-1○ 豊能地区(予選) 対箕面学園 1-2× 対豊島 2-0○(本戦) 対池田北 2-1○ 対東豊中 0-2× 対箕面学園 0-2×
近畿大会(予選) 対羽曳野 0-2×

【柔道部】

定期戦(対天王寺)

点取り戦 4-4 勝

勝ち抜き戦 4人残し 負

全国大会地区予選

1回戦 対北千里 勝

2回戦 対東淀川 勝

準々決勝 対東淀工 負

全国大会府予選

1回戦 対大体大浪商 負

天王寺には十数年ぶりの勝利でした。来年はベスト4を目指してがんばりたいと思います。

(連絡先) 大阪市淀川区新北野2-5-13 北野高等学校内 福田 稔宛

【応援部】

現在3年男子部員4名で奮闘中。
年度当初には、OBのご支援により、本校の部活動を紹介した雑誌「梁江」を発行しました。

また、6月28日に南港中央公園球場で行われた春の甲子園出場校の市岡高校との野球部定期戦には、OBの支援の応援バスをチャーターしました。

【女子バレー部】

高校総合体育大会 対山田高 0-2
対島本高 1-2

府高校大会 対北千里高 0-2 ×
対高槻北高 0-2 ×

部別大会(秋期)

対大阪女学院高 0-2 ×

対藤井寺高 0-2 ×

対礎島高 0-2 ×

高校総合体育大会

対山田高 0-2 ×

対島本高 1-2 ×

府立高校大会 対北千里高 0-2 ×
対高槻北高 0-2 ×

部別大会(秋季)

対大阪女子学院高 0-2 ×

対藤井寺高 0-2 ×

対礎島高 2-0 ○

入れ替え戦 対南高 0-2 ×
春の高校バレー

対箕面高 0-2 ×

西田杯 対成蹊高 0-2 ×

対箕面高 0-2 ×

対吹田高 0-2 ×

部別大会(春季)

対梅花高 2-0 ○

対堺西高 2-1 ○

対追手門 2-0 ○

豊能地区女子バレー ボール大会

対少路高 1-2 ×

対東豊中高 0-2 ×

対箕面東高 2-0 ○

近畿大会大阪予選

対今宮高 0-2 ×

夏の公式戦を目標に9人でがんばっています。

【女子テニス部】

サンケイジュニア

寺川、柳沢本駿出場

季団体戦 予選決勝出場

春季赤坂杯

柳沢、森本予選決勝出場

現在女子テニス部は1年13人2年6人の計19人で毎日練習に励んでいます。

【合気道部】

我が合気道部は去る六月四日の文化祭で恒例の演武大会を行いました。三月からの三ヶ月の練習のかいあつてか、みんなそれぞれに満足していました。観客の方も思ったより多く、我が部としてはなかなか上出来であったかと思っています。

今年からは部員1人あたり、月に1度くらい吹田の道場へ通わせていただく予定です。

【剣道部】

大阪府高等学校剣道新人大会

・団体 男子 対大阪青陵○
対千里 ×
女子 対高槻南 ×

・個人 男A: 2回戦 B: 1回戦
女A: 2回戦 B: 3回戦

インターハイ大阪府予選

・団体 男子 対芥川 ○
対大商学園×
女子 対三島 ×

・個人 男A: 2回戦 B: 1回戦
女A: 1回戦 B: 1回戦

現在、我が剣道部には、勝負強さが欠けています。今後はその勝負強さを身につけることができるよう、稽古に励みたいと思っています。

連絡先: 06-392-4627 加藤 和也

【ソフトボール部】

大阪総体二回戦対大谷 3-13 ×
府立大会予選リーグ対礎島 7-0 ○

対旭 7-0 ○ 対唐津 12-0 ○
決勝トーナメント対門真西 13-21 ×
部別大会三回戦 対門真西 5-6 ×
一学区大会三、四位決定戦

対渋谷 5-2 ○

つくし杯 優勝

公立研修リーグ 八尾南 3-5 ×
鶴見商 5-12 ○ 八尾東 1-4 ×
阿倍野 6-3 ○

I H予選三回戦対宣真 1-6 ×
新旧交代、新チーム発足から数ヶ月が経とうとしています。ぎりぎりの人数の少なさのなかで、いい試合をしたいと思っています。

(連絡先) 北野高校内 錦田俊一

【水泳部】

公式戦、高校総体、男200蝶29位吉富。
男400m混合16位鳥谷、佐藤、吉富、森下。
男400m混25位有本、久保、吉富、林下。
女100平18位四野。女200平26位四野。
女400m混合18位安川、森田、牟田、横山。
新人戦、男100自26位林下。男100平23位久保。
男100蝶22位吉富。男200蝶14位鳥谷、古林、吉富、林下。男400m混17位有本、久保、吉富、林下。

(連絡先) 松川貴志 H2卒 大阪市淀川区西宮原1-3-2-502 (06)392-5361

【サッカー部】

中田カップ対砂川 3-1 ○ 対泉陽 0-2 × 対大正 5-0 ○ 選手権予選 対香里丘 1-3 × 定期戦 2-1 ○ 北摂リーグ 対池田 7-0 ○ 紫島 9-0 ○ 対関大 4-1 ○ 対箕面東 1-0 ○ 対北陽 0-1 × 対関西大倉 1-2 × 対茨木 0-2 × 対教大池田 4-1 ○ 定期戦 対膳所 3-1 ○ 新人戦 対大商学園 0-1 × 春季大会対守口北 1-0 ○ 対春日丘 0-1 ×

(連絡先) 堺市新金岡町3丁目1-1-203 (0722)-50-6066 富岡 迅夫

【山岳部】

・94年8月夏山(立山一葉師岳)
8月インターハイ(富山)3位
8月第49回大阪総体 1位
9月第40回近畿高校登山大会 5位
10月大阪高校秋季登山大会 1位

・94年10月 福井—京都間 60km
京都北山縦走
・95年5月大阪高校春季登山大会
1位(I・H出場決定)
<大山山系>

今年もI・H出場となりました。これに対する六稜同窓会の援助に深く感謝します。(連絡先) 大阪市淀川区東三國4-17-7-201号室新大阪教育センター内大稜山岳会事務所

(06-395-3521)

【バトミントン部】

第49回大阪高等学校総合体育大会

男子シングルス2部

西越 準優勝 三好 ベスト8

第42回大阪高等学校選手権大会

女子ダブルス2部

中村・茂成組ベスト8

第49回大阪高等学校春季バトミントン競技大会

学校対抗の部 ベスト8

男子ダブルス2部

三好・西越組 優勝

初心者が多いので経験不足というのが現状です。ぜひ練習を見に来てください。

【卓球部】

選抜チーム戦男子I部10位、女子II部6位。大阪総体男女ともベスト16。春期北摂大会女子優勝、男子3位、女子シングルス、中島2位。インターハイ予選男子4回戦負、女子3回戦負、男子ダブルス、田中・平井組ベスト32。

現在、男女とも、中央大会に進出すべく日々練習に励んでいます。是非練習を見に来て下さい。

(連絡先) 大阪市東淀川区東淡路1-5-3-731 古川 智祥

【囲碁・将棋部】

第一新館化学講義室、又は旧図書館で活動していますので、御指導宜しくお願ひします。

【演劇部】

文化祭にて「土曜日にさようなら」を上演。

【オーケストラ部】

・文化祭での定期演奏会にて演奏
・第12回第1ブロック音楽会にて演奏

・六稜交歓音楽祭にて演奏

・扇町教会の音楽礼拝にて演奏
・第16回大阪府高等学校芸術文化祭にて演奏

・新入生歓迎演奏会にて演奏

クラシックの素晴らしさを伝えようと学校のある日は毎日活動しています。

【化学研究部】

文化祭には、ナイロンやルミナーの発光などを展示した他、液体窒素、テルミット反応等の演示実験をしました。

【写真部】

6月に行われた文化祭では様々なジャンルの作品を展示。今後は校舎の記録写真を中心に活動していきます。撮影会や、コンテストへの応募も予定しています。

部員は現在2年生の女子3名。

【書道部】

2年生2人で活動しています。これから部員を増やし、書道部の活動を活発にしていこうと努力しています。

【放送部】

・KBS京都主催「こちら春春放送局」に自作の放送劇「ブリーズ・テル・ミー」で参加。
・今年の文化祭では、講堂にて放送劇「Promise」を上演。

・月曜日～金曜日まで、朝10分間、昼30分間の校内放送。最新ヒット曲からナツメロまである充実した音楽番組。

・水泳大会、体育大会、その他のクラブの大会時のアナウンス。
部員5名で活動しています。

【美術部】

◆第46回全大阪高校美術工芸展参加
<絵画部門>奨励賞受賞2点<デザイン部門>奨励賞受賞1点 ◆体育大会・看板作成 ◆第17回全大阪高等美術工芸第1ブロック展・参加
◆文化祭・教室展示・看板制作
8月には夏期合宿(岐阜県郡上八幡)と第47回全大阪高校美術工芸展があります。新しく山本先生を顧問に迎え、新人部員8名と共に新スタートとなりました。

【物理研究部】

★全国誌「マイコンBASICマガジン」10月号投稿、掲載される。

★文化祭出展MASH.BASICによるプログラム発表。電子工作（スヌーズ機能付目覚し時計・ルーレット）。

本年度は昨年に引き続き、プログラム中心の活動、また物理の法則に関する工作をし、一月に一作品程度のベースで校内発表しようと考えています。また、本年度も7月無線4級に数名受験予定です。

【文芸部】

文芸部は、平成6年度の活動で、部誌「幻」を4冊発行。平成7年度の文化祭では、3年ぶりに「北野文学」を発行しました。部員も増え、現在17人で活動しています。

(連絡先) 池田市豊島南1-11-15

0727-62-0314 西崎 真以

文芸部の名簿を作りたいと思っています。O.B.の方は、上記までご連絡下さい。

【園芸同好会】

★六稜園芸店—文化祭

挿し木や種から育てた苗を販売。

アジサイ・ペチュニア・桔梗・菊・マリーゴールド・コリウス
★阪神大震災のチャリティーへ、収益金21470円を寄付しました。

・四季折々の花壇 秋冬・菊。春一チューリップ・パンジー。夏一ペチュニア・インパチエンス。

【クイズ研究同好会】

現在の会員は15人。文化祭で行われる六稜オープンも大好評。高校生クイズ全国制覇を目指してがんばっている最中。

六稜山岳部 94年秋の山行の記録を発刊

六稜山岳部は今年もインターハイに出場して気を吐いているが、部活動としての登山活動とインターハイでの競技登山とは異なるとの視点から、自然・人間・社会・歴史を学びつつ登る山岳活動を年度毎に模索している。

昨(1994)年は、10月7日から10月10日にかけて京都北山を小浜から鞍馬にかけて縦走する初めてのコースを踏破し、その記録を44ページの冊子にまとめた。以下に昨年度2年生で副部長であった田淵徹平君の文章の一部を転載する。

鯖街道とわたし 2年 田淵徹平

「日本海からずっと歩いて京都まで行こう。」そんな話が持ち上がったのが、約1年前のことでした。その壮大で途方もない企画を、顧問の佐々木先生から聞かされたとき、最初「えっ」と思いました。実際想像もつかなかつたし、単なる思いつきだと思ったわけです。(略)

今回の山行きで、特に面白かったのが2日目ではないかと思います。距離が長いというのもありますし、僕がたまたまコースリーダーを務めたというのも手伝っているかもしれません、あの三国岳を忘れるわけにはいきません。登り口から頂上までとにかくヤブ(藪)だらけで、初めにドキッさせられました。こういう、道がどちらに続いているか見通しのきかない場所だと、ちゃんと地図通りに行けないのでなかなかうかと不安になるものです。ただ、この三国岳の登り道だけは、はっきりしていたので(つまり、地面の露出した部分が道としてははっきりしており、その道のわきから生えている背丈の高い草がおおいぶさって、行く手をさえぎっている状態)その点は安心して登れました。しかし、草がなくなったかと思うと、急に登りがきくなり、緩やかになったかと思うと、また草が邪魔をするといった状態が続き、我を忘れて草をかきわけておりました。登り道も中盤にさしかかると、草が何か杉の葉のようなものになってきて、本格的に草手を着用して進むことにしました。その上、登り道だ

ったので、頂上の近くの辺りの、ちょっと開けたところでは道を間違えてしまったのです。決して読図ミスの言いわけをしているのではないですが、それほど三国岳は、僕をこすらしてくれたのです。

あまり名の知られていない、道も全く整備されていないこの三国岳は、おそらく登山者も少ないと思う。しかし、僕はこの三国岳が隠れた名山のように思えてならない。

不思議な物ですが、僕は整備された登山道以外のいわゆるヤブ道だと、雪山でトレースについていない所だと、そういう自分の進行方向にはつきりと道の続いていない場所が苦手でした。要するに、精神的に不安になるといった状態に陥るのでしょうか、今回の場合それがなく、安心してヤブの中に入っていました。先に書いた通りヤブを払って進んでいく実感、山の中を突き進んでいるっていう実感が非常に嬉しかったです。つまり、全く道でないところを突き進んだら、マナー的に問われるし、山行の安全性を考えてもそのような無謀なことはできませんが、三国岳ならそのような心配を全く考えることなく、安心して疑似サバイバルを満喫できるのではないかと思います。本来の山行の趣旨とは外れているかもしれません、活字ができる限界で、三国岳の良さを説明したつもりです。(略)

今回の山行は特に意義のあるものだったように思う。一つは、やはり夏山北アルプス山行をもはるかにしのぐ長距離を歩いたことだと思います。そして、もう一つは、わが六稜山岳部にとって初めての試みであったということです。そして同時に、新しい発見も多かったです。今まで書いたことに加え、下見で行った区間の季節的な違いだと、そういうこともその一つだと思う。だから、後輩諸君には鯖街道も是非行ってほしいけれども、今までの先輩方が行っていないところとか(そういう所を発見するのは難しいけれども)、ちょっとした思いつきみたいなものをふくらましてみたり、そういう新しいチャレンジに是非取り組んでほしいと思います。最後に、今回の「鯖街道」10月山行を成功へと導いてくださいました先生方、先輩方、並びに全ての部員へ感謝の意を述べたいと思います。

大学合格者一覧表

(7.5.2現在)

順位	立候補	男女	計	順位	立候補	男女	計	順位	立候補	男女	計	順位	立候補	男女	計
北海道	大8	6	14	山口	大1	1	1	学習院	大2	3	6	仏教	大1	1	1
岩手	大1	1	1	青川医科学	大1	1	1	北里	大1	1	1	立命館	大9	26	29
東北	大2	2	2	愛媛	大1	1	1	慶應義塾	大27	8	35	龍谷	大15	17	32
茨城	大2	2	2	高知	大1	1	1	國士塾	大1	1	1	法政	大1	1	1
埼玉	大1	1	1	高知医科学	大1	1	1	上智	大3	11	11	法政	大6	11	8
千葉	大1	1	1	九州	大2	3	1	中央	大2	2	2	大阪音楽	大1	1	1
新潟の水女子	大2	2	2	長崎	大1	1	1	津田塾	大4	4	4	大阪学院	大1	2	3
電気通信	大1	1	1	大分医科学	大1	1	1	東京女子	大4	4	4	大阪経済	大2	2	4
東京	大3	1	4	宮崎	大1	1	4	東京農業	大1	1	1	大阪工業	大7	7	14
東京外国語	大2	1	3	合計	206	120	326	東京薬科	大1	1	1	大阪国際	大1	1	1
東京工業	大4	4	4	公立				東京環保	大10	8	18	大阪産業	大1	1	1
東京水産	大1	1	1	横浜市立	大3	3	3	東邦	大1	1	1	帝京文理	大1	1	1
一橋	大1	1	2	都留文科	大2	2	2	日本	大1	1	1	久留米	大1	1	1
横浜国立	大1	1	1	愛知県立看護	大1	1	1	日本女子	大1	1	1	医療専門	大1	1	1
金沢	大3	1	4	名古屋市立	大2	2	2	法政	大2	2	2	大阪薬科	大2	20	22
信州	大5	5	5	滋賀県立	大2	2	4	明治	大4	4	4	関西大	74	15	119
名古屋	大3	1	4	京都府立英智	大1	1	2	明治学院	大1	2	3	滋賀県立大看護	1		1
三重	大1	1	2	京都府立	大1	1	2	明星	大1	1	1	西外國語	1	1	1
滋賀	大3	1	4	京都府立医療	大1	1	2	文教	大1	3	4	近畿	大20	17	37
滋賀医	大1	1	1	大阪女子	大1	1	1	早稲田	大16	3	19	阪南	大1	1	1
京都	大45	8	53	大阪市立	大17	12	29	創価	大1	1	1	同志社女子大	1	1	1
京都教育	大1	4	5	大阪府立	大23	11	34	中京	大1	1	1	大府看大医療	1		1
京都工業	大9	9	18	神戸市外國語	大1	1	1	藤田保健衛生	大1	1	1	西外國語	1		1
大阪	大48	24	72	神戸商科	大3	2	5	医学館	大1	1	1	西女子美術	1		1
大阪外国语	大1	4	5	姫路工業	大1	1	1	大谷	大2	2	2	平南女子	大2		1
大阪教育	大5	13	18	兵庫県立看護	大1	1	1	京都外國語	大1	2	3	同志社大	1		1
神戸	大45	25	60	奈良県立医療	大1	1	1	京都産業	大1	1	1	大阪工大	1		1
奈良女子	大3	3	3	和歌山県立医務	大1	1	1	京都女子	大6	6	6	阪南	大2	1	3
和歌山	大1	1	1	岡山県立	大1	1	1	京都婦専	大1	1	1	西女子大	1	3	3
鳥取	大2	2	2	合計	55	38	93	京都獨女子	大4	4	4	神戸学院	大2	2	2
島根	大1	1	1	私立				京都産科	大3	19	22	神戸歯女子学院	7	7	合計
岡山	大4	2	6	龍洋	大1	1	1	同志社	大82	22	104	神戸女学院	10	10	各種専修学校
広島	大1	1	1	青山学院	大2	5	7	志社女子	大5	5	5	神戸女子	3	3	9

事務局から

- 六稜同窓会名簿(創立120周年記念)の残部があります。発刊して3年になりましたので1冊3000円に値下げしました。まだの方、この機会にどうぞ。
- 住所や勤務先などに変更がありましたら、必ず事務局にご一報ください。はがき、電話、ファックスのいずれでも結構です。
- 各期・各地・クラブなどで同窓会を開催する場合、事務局にご相談ください。最新名簿データの提供、宛て名タックシールの打ち出し、案内文のコピー、会場の紹介など、いろいろお役に立ちます。
- 「北野高校の職業別名簿」と称し、業者が購入を呼び

かけてくることがあります。六稜同窓会とはまったく関係ありません。これらは高価なわりに内容の薄いもので(アンケートに答えた人のデータだけで作っていますので)、役に立つものとは思えませんので、ご注意ください。

○同窓会ならびに会員に関するニュース、お問合せなど、なんでも事務局にお寄せください。

(事務局長 新原知廣)

六稜同窓会事務局

〒532 大阪市淀川区新北野2-5-13

大阪府立北野高等学校内

TEL 06-306-0374

FAX 06-306-1335

編集後記

- ◆新校舎の具体像は昨年の総会で紹介されたが、印刷物での公表はこれが始めて。完成は21世紀になる。同窓会としては同窓会館建設が大きな課題。次号ではこれがメインテーマとなるはず。◆戦後50年の今年、昭和20年に

在学していた期の方に集まっていた。それにしても93歳の水島先生のお元気なこと、ご記憶の確かなこと驚くばかり。◆読んでもらえる会報を目指し、できるだけ多くの期、多くの人の登場を期待している。新米若輩者集部にご支援をお願いしたい。身近な会員に関する話題があれば、いつでも事務局まで。(K)